

見積参考資料

R2三土 国道439号(京上トンネル)
委託業務名三・東祖谷若林 トンネル修繕設計業
務

注意

「見積参考資料」は入札参加者の迅速で適正な業務委託費の見積りのための一資料であり、委託契約を拘束するものではない。

業務委託料内訳書

業務名	R 2 三土 国道 4 3 9 号（京上トンネル） 三・東祖谷若林 トンネル修繕設計業務					業 種 目	土木設計業務 トンネル設計	
項目・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要	
トンネル設計		式	1					
トンネル設計		式	1					
トンネル修繕設計		式	1					
設計計画		式	1					内 1号
現地踏査		式	1					内 2号
補修工法の検討	L=1023m, 125～150箇所, 3工種	式	1					内 3号
施工計画		式	1					内 4号
共通		式	1					
共通（設計業務）		式	1					
打合せ等		式	1					
打合せ	中間 2 回	業務	1					内 5号
直接経費		式	1					
直接経費		式	1					

業務委託料内訳書

業務名	R 2 三土 国道 4 3 9 号（京上トンネル） 三・東祖谷若林 トンネル修繕設計業務					業 種 項 目	土木設計業務 直接経費	
項目・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要	
旅費交通費		式	1					
旅費（率計上・宿泊無）	土木設計業務	式	1					
電子成果品作成費		式	1					
電子成果品作成費（設計）	概略設計、予備設計又は詳細設計	式	1					
直接原価（その他原価除く）		式	1					
その他原価		式	1					内 6号
一般管理費等		式	1					内 7号
設計業務価格		式	1					
消費税相当額		式	1					
設計業務委託料		式	1					

1 次内訳書

単価使用年月	2020. 09
歩掛適用年月	2020. 09
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

内 1号	設計計画					
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額
	主任技師		人	1		
	技師(A)		人	1		
	技師(B)		人	0.5		
	合計					

1 次内訳書

単価使用年月	2020. 09
歩掛適用年月	2020. 09
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

内 2号	現地踏査					
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額
	技師(A)		人	1		
	技師(B)		人	1		
	技師(C)		人	1		
	合計					

1 次内訳書

単価使用年月	2020. 09
歩掛適用年月	2020. 09
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

内 3号	補修工法の検討	L=1023m, 125～150箇所, 3工種					
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
補修工法の検討			式	1			内 8号
設計図作成			式	1			内 9号
数量計算			式	1			内 10号
照査			式	1			内 11号
報告書作成			式	1			内 12号
合計							

1 次内訳書

単価使用年月	2020. 09
歩掛適用年月	2020. 09
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

内 4号	施工計画					
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額
	主任技師		人	0.75		
	技師(A)		人	2.25		
	技師(B)		人	1.5		
	合計					

1 次内訳書

単価使用年月	2020. 09
歩掛適用年月	2020. 09
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

内 5号	打合せ	中間 2 回				
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額
	打合せ		業務	1		内 13号
	合計					

1 次内訳書

単価使用年月	2020. 09
歩掛適用年月	2020. 09
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

内 6号	その他原価						
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
直接人件費（設計業務）			式	1			
$\alpha \div (1 - \alpha)$			%				
その他原価			式	1			
合計							

1 次内訳書

単価使用年月	2020. 09
歩掛適用年月	2020. 09
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

内 7号	一般管理費等					
名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
業務原価		式	1			
$\beta / (1 - \beta)$		%				
一般管理費等		式	1			
調整額						
合計						

2 次内訳書

単価使用年月	2020. 09
歩掛適用年月	2020. 09
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

内 8号	補修工法の検討					
名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
主任技師		人	1.4			
技師 (A)		人	1.4			
技師 (B)		人	1.4			
合計						

2 次内訳書

単価使用年月	2020. 09
歩掛適用年月	2020. 09
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

内 9号	設計図作成					
名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
技師 (B)		人	2.6			
技師 (C)		人	2.6			
技術員		人	7.8			
合計						

2 次内訳書

単価使用年月	2020. 09
歩掛適用年月	2020. 09
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

内 10号	数量計算					
名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
技師(B)		人	1.3			
技師(C)		人	2.6			
技術員		人	5.2			
合計						

2 次内訳書

単価使用年月	2020. 09
歩掛適用年月	2020. 09
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

内 11号	照査					
名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
主任技師		人	1.3			
技師(A)		人	1.3			
合計						

2 次内訳書

単価使用年月	2020. 09
歩掛適用年月	2020. 09
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

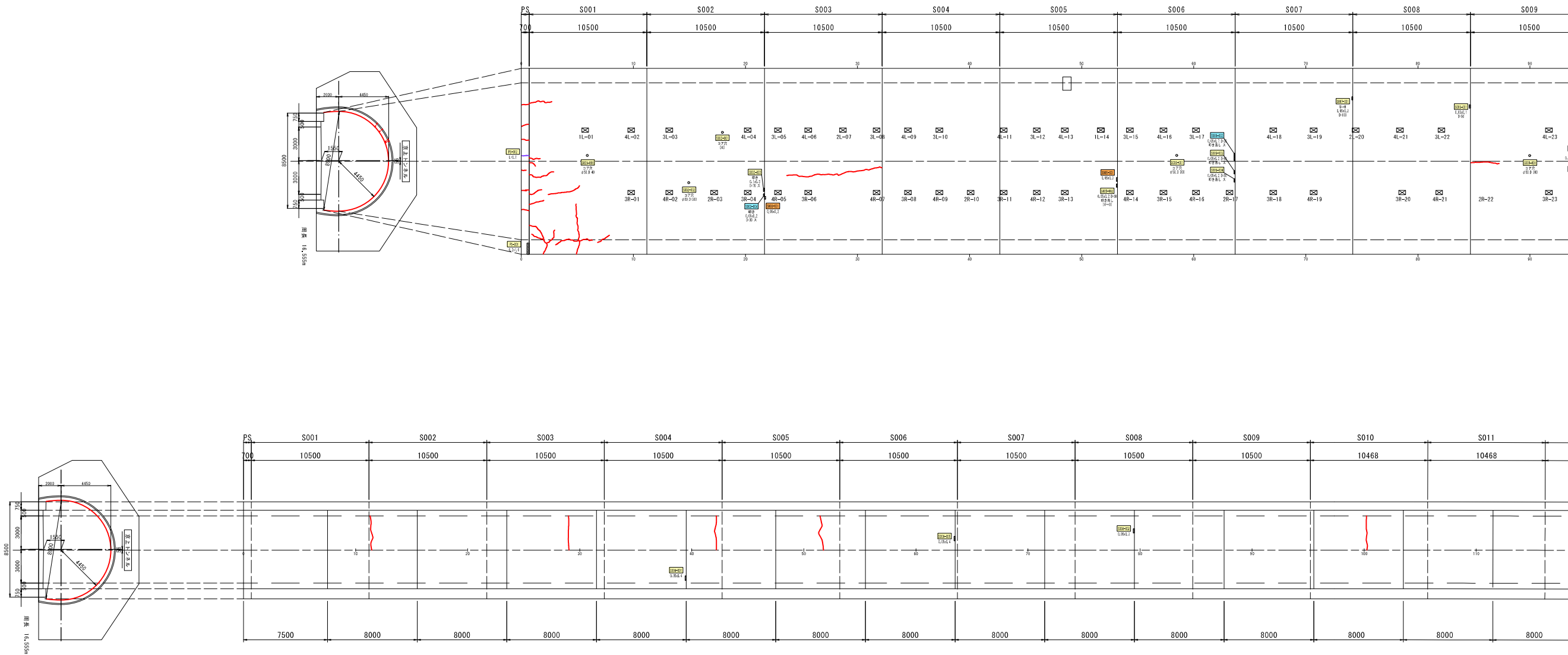
内 12号	報告書作成					
名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
主任技師		人	1.3			
技師(A)		人	1.3			
技師(B)		人	2.6			
技師(C)		人	2.6			
合計						

2 次内訳書

単価使用年月	2020. 09
歩掛適用年月	2020. 09
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

内 13号	打合せ					
名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
主任技師		人				
技師(A)		人				
技師(B)		人				
合計						

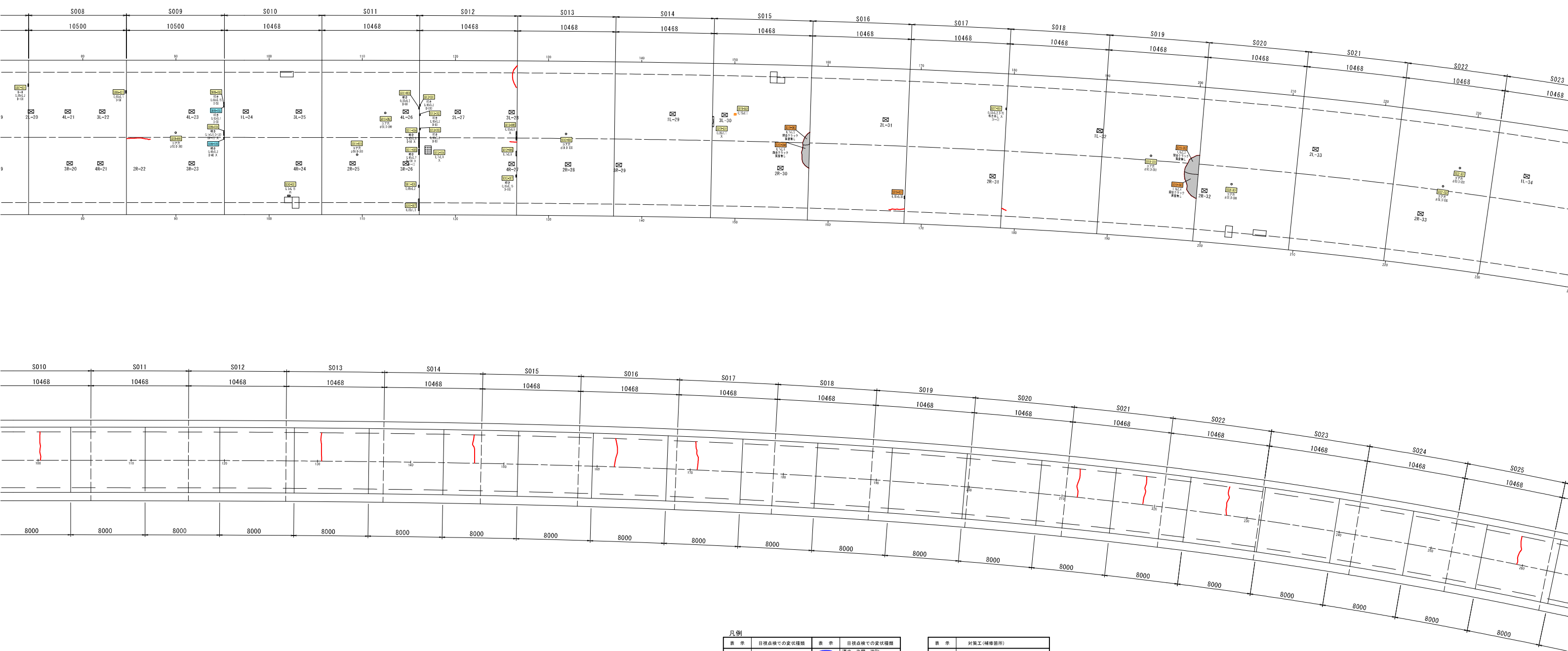
京上トンネル展開図 S=1:200



凡例	
表 示	目視点検での変状種類
---	施工目地
~~~~~	遊離石灰等により目詰まりしたひび割れ
~~~~~	ひび割れ (0.3mm未満)
~~~~~	ひび割れ (0.3mm以上)
~~~~~	数値はひび割れ開口幅 (mm)
~~~~~	陥没
~~~~~	矢印側突出、数値は陥没量 (mm)
~~~~~	コールドジョイント
~~~~~	圧さ
~~~~~	うき、はく離 (ハンマー打診異常箇所)
~~~~~	はく落 (はく落跡)
~~~~~	骨材の露出 (豆板筋)
~~~~~	コンクリートの劣化
~~~~~	鉄筋露出
~~~~~	空洞
~~~~~	漏水 (漏水量、リットル/分)
~~~~~	漏水 (漏れている部分)
対象	区分
本	I 利用者に対して影響が及ぶ可能性がないため、措置を必要としない状態。
体	II 将来的に、利用者に対して影響が及ぶ可能性があるため、監視、又は予防保全の観点から対策を必要とする状態。
工	III 継続、利用者に対して影響が及ぶ可能性が高いため、早期に対策を講じる必要がある状態。
	IV 利用者に対して影響が及ぶ可能性が高いため、緊急に対策を講じる必要がある状態。
附	× 附属物の取付状態に異常がある場合。
属	○ 附属物の取付状態に異常がないか、あっても軽微な場合。

表 示	対策工 (補修箇所)
~~~~~	ひび割れ注入工 (エポキシ樹脂系)
~~~~~	ひび割れ注入工 (超微粒子セメント系)
~~~~~	ひび割れ充填工 (Uカットシーリング)
~~~~~	はつり落とし工
~~~~~	劣化防止コーティング
~~~~~	前面修復工 (ポリマセメント)
~~~~~	当て板工 (炭素繊維シート2方向1層)
~~~~~	ネット工 (FRPメッシュ)
~~~~~	ネット工 (ビニロンメッシュ)
~~~~~	表面含浸工 (けい酸ナトリウム系)
~~~~~	線導水工 (溝切り工) 150型
~~~~~	線導水工 (溝切り工) 120型
~~~~~	内面補強工 (炭素繊維シート1方向2層)
~~~~~	薬品の注入工 (薬治ウレタン)
~~~~~	ひび割れ止水工
~~~~~	その他補修

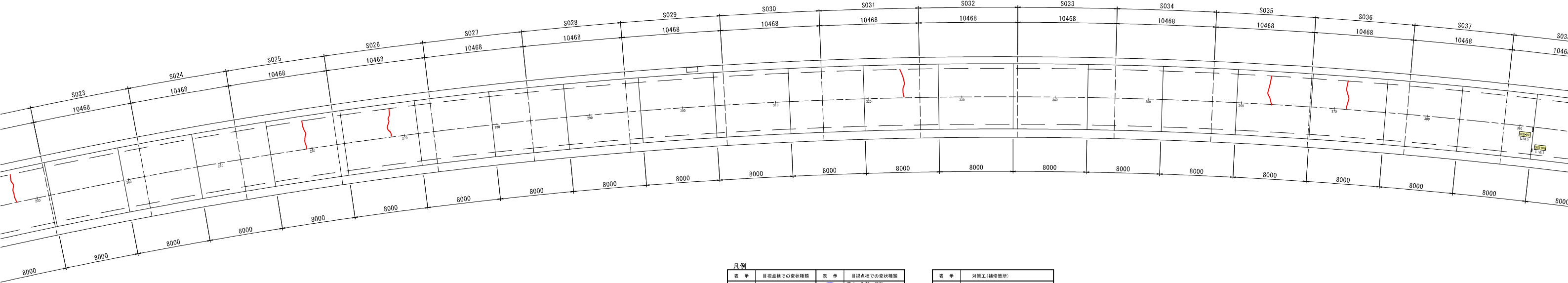
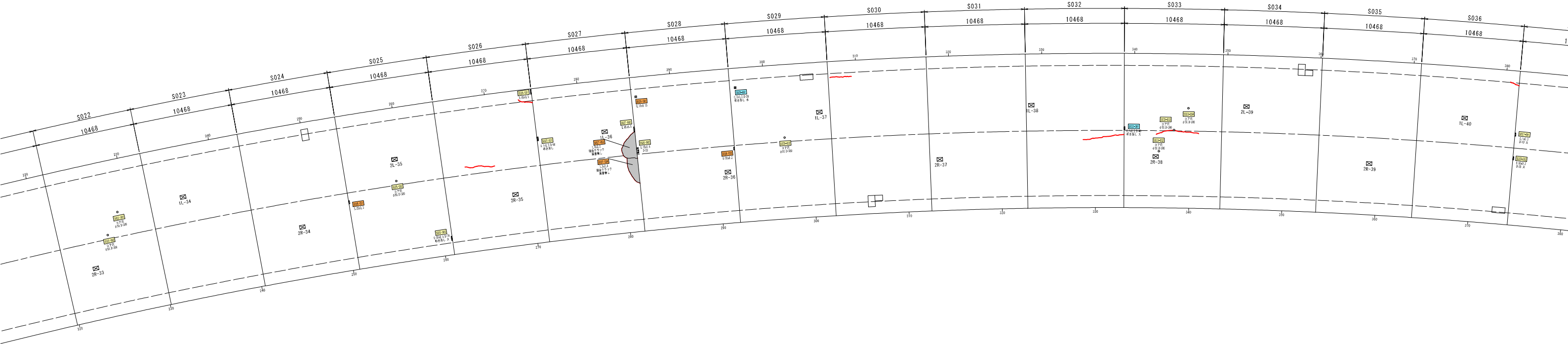
京上トンネル展開図 S=1:200



凡例	
表 示	目視点検での変状種類
	施工目地
	遊離石灰等により目詰まりしたひび割れ
	ひび割れ (0.3mm未満)
	ひび割れ (0.3mm以上)
	数値はひび割れ開口幅 (mm)
	段差
	矢印側突出、数値は段差 (mm)
	コールドジョイント
	圧ぎ
	うき、はく離 (ハンマー打診異常箇所)
	はく落 (はく落跡)
	骨材の露出 (豆板筋)
	コンクリートの劣化
	鉄筋露出
	空洞
	漏水 (漏水量、リットル/分)
	漏水 (漏れている部分)
対象 区分	状 態
本 体	I 利用者に対して影響が及ぶ可能性がないため、措置を必要としない状態。
	II 将来的に、利用者に対して影響が及ぶ可能性があるため、監視、又は予防保全の観点から対策を必要とする状態。
	III 即時、利用者に対して影響が及ぶ可能性が高いため、早期に対策を講じる必要がある状態。
	IV 利用者に対して影響が及ぶ可能性が高いため、緊急に対策を講じる必要がある状態。
附 属 物	× 附属物の取付状態に異常がある場合。
	○ 附属物の取付状態に異常がないか、あっても軽微な場合。

表 示	対策工 (補修箇所)
	ひび割れ注入工 (エポキシ樹脂系)
	ひび割れ注入工 (超微粒子セメント系)
	ひび割れ充填工 (Uカットシーリング)
	はつり落とし工
	劣化防止コーティング
	断面修復工 (ポリマセメント)
	当て板工 (炭素繊維シート2方向1層)
	ネット工 (FRPメッシュ)
	ネット工 (ビニロンメッシュ)
	表面含浸工 (けい酸ナトリウム系)
	線導水工 (溝切り工) 150型
	線導水工 (溝切り工) 120型
	内面補強工 (炭素繊維シート1方向2層)
	薬品の注入工 (無油ウレタン)
	ひび割れ止水工
	その他補修

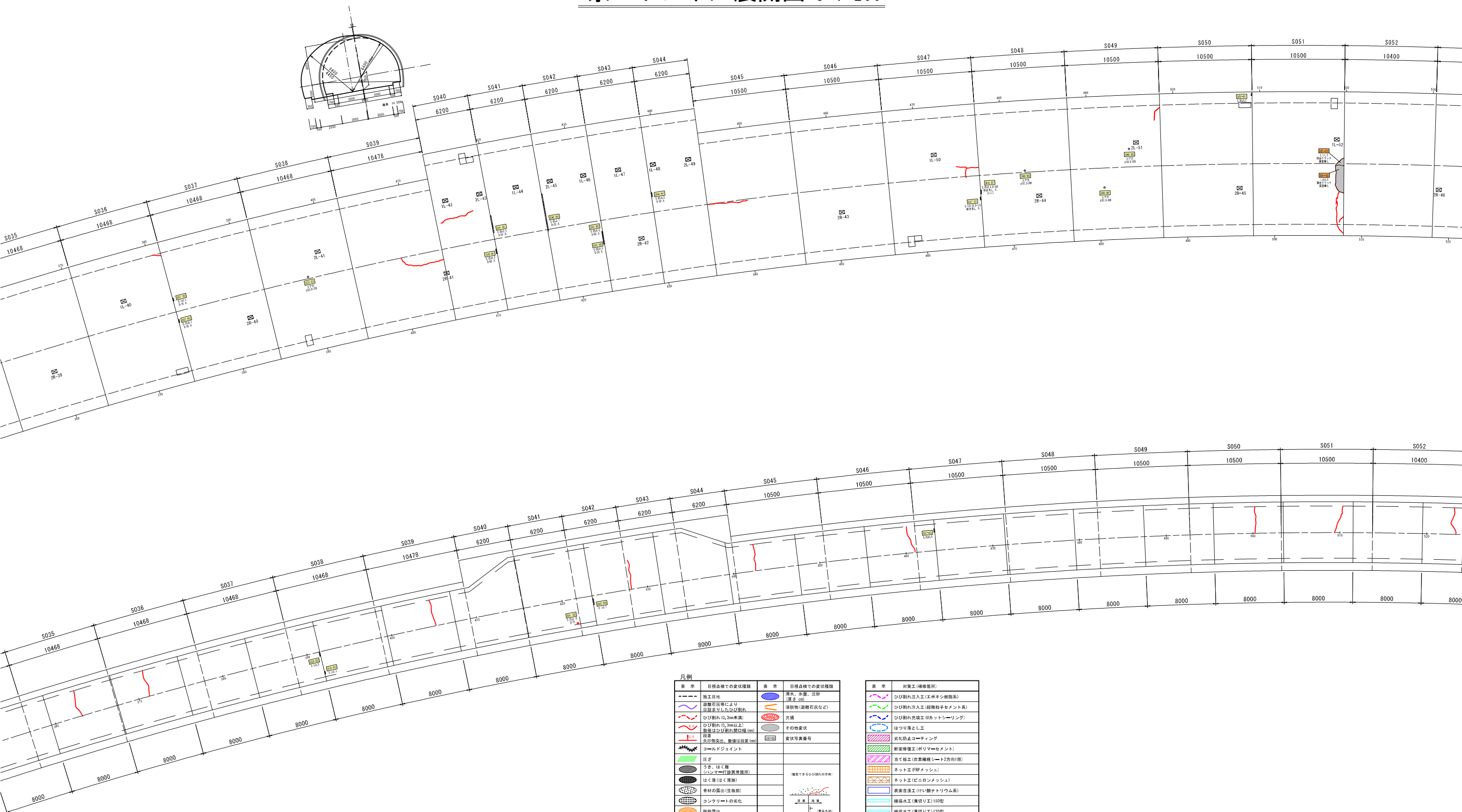
京上トンネル展開図 S=1:200



凡例			
表 示	目標点線での変状種類	表 示	目標点線での変状種類
	施工目地		漏水、水漏、浸透 (厚さ cm)
	近隣石炭等により 目詰まりしたひび割れ		凍結物 (凍結石炭など)
	ひび割れ (0.3mm未満)		欠損
	ひび割れ (0.3mm以上) 数値はひび割れ開口幅 (mm)		その他変状
	変状 変状割変出、数値は長さ (mm)		変状写真番号
	コールドジョイント		
	注ぎ、はく離 (コンクリート設置異常箇所)		
	はく離 (はく離部)		
	骨材の露出 (豆板部)		
	コンクリートの劣化		
	鉄筋露出		
	空洞		
	漏水 (漏水量、リットル/分)		
	漏水 (漏れている部分)		
対象 区分	状 態		
本 体	I	利用者に対して影響が及ぶ可能性がないため、措置を必要としない状態。	
工	II	将来的に、利用者に対して影響が及ぶ可能性があるため、監視、又は予防保全の観点から対策を必要とする状態。	
	III	現時点、利用者に対して影響が及ぶ可能性が高いため、早期に対策を講じる必要がある状態。	
	IV	利用者に対して影響が及ぶ可能性が高いため、緊急に対策を講じる必要のある状態。	
附属物	X	附属物の取付状態に異常がある場合。	
	O	附属物の取付状態に異常がないが、あっても軽微な場合。	

表 示	対策工 (補修箇所)
	ひび割れ注入工 (エポキシ樹脂系)
	ひび割れ注入工 (超微細粒子セメント系)
	ひび割れ充填工 (注カッターリング)
	はつり落とし工
	劣化防止コーティング
	断面修復工 (ポリマーセメント)
	当て板工 (炭素繊維シート2方向1層)
	ネット工 (FRPメッシュ)
	ネット工 (ビロンメッシュ)
	表面含浸工 (けい酸ナトリウム系)
	継ぎ目工 (溝切り工) 150型
	継ぎ目工 (溝切り工) 120型
	内面補強工 (炭素繊維シート1方向2層)
	裏込め注入工 (発泡ウレタン)
	ひび割れ止水工
	その他補修

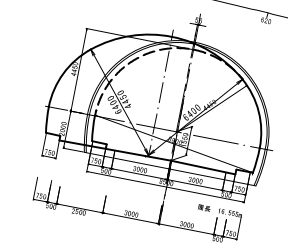
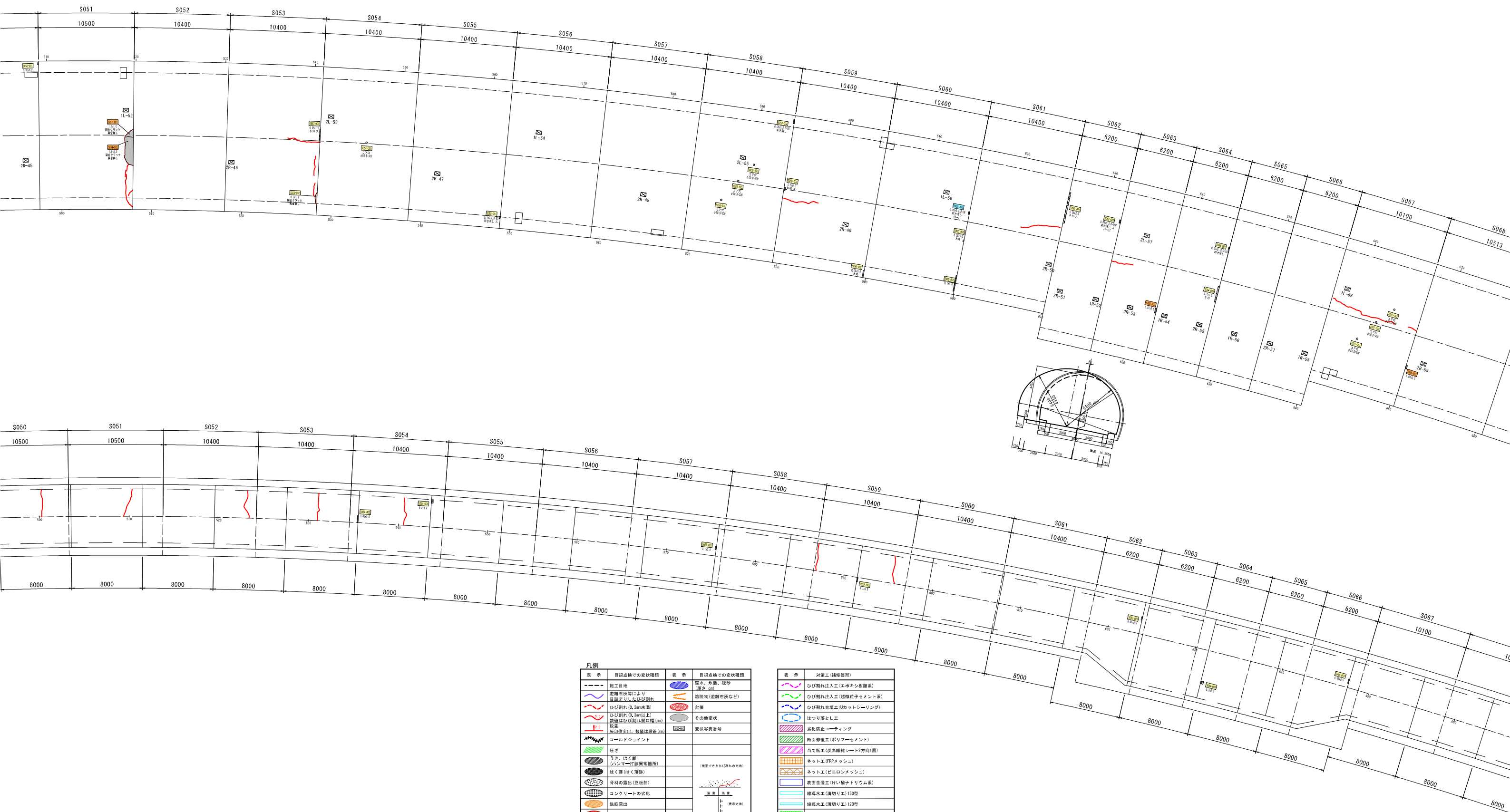
京上トンネル展開図 S=1:200



凡例	
表 示	目視点検での変状種類
	施工目地
	遊離石炭等により目詰まりしたひび割れ
	ひび割れ(0.3mm未満)
	ひび割れ(0.3mm以上)
	数値はひび割れ開口幅(mm)
	段差
	矢印側突出、数値は段差(mm)
	コールドジョイント
	圧ざ
	うき、はく離(ハンマー打診異常箇所)
	はく離(はく離跡)
	骨材の露出(豆板部)
	コンクリートの劣化
	鉄筋露出
	空洞
	漏水(漏水量、リットル/分)
	漏水(漏れている部分)
対象	区分
本 体	I 利用者に対して影響が及ぶ可能性がないため、措置を必要としない状態。
	II 将来的に、利用者に対して影響が及ぶ可能性があるため、監視、又は予防保全の観点から対策を必要とする状態。
	III 監視、利用者に対して影響が及ぶ可能性が高いため、早期に対策を講じる必要がある状態。
	IV 利用者に対して影響が及ぶ可能性が高いため、緊急に対策を講じる必要がある状態。
附属物	× 附属物の取付状態に異常がある場合。
	○ 附属物の取付状態に異常がないか、あっても軽微な場合。

表 示	対策工(補修箇所)
	ひび割れ注入工(エポキシ樹脂系)
	ひび割れ注入工(超微粒子セメント系)
	ひび割れ充填工(⑩カットシーリング)
	はつり落とし工
	劣化防止コーティング
	新築修繕工(ポリマーセメント)
	当て板工(炭素繊維シート2方向1層)
	ネット工(FRPメッシュ)
	ネット工(ビニルメッシュ)
	表面含浸工(けい酸ナトリウム系)
	縁部水工(溝切り工)150型
	縁部水工(溝切り工)120型
	内面補修工(炭素繊維シート1方向2層)
	漏れ止め注入工(発泡ウレタン)
	ひび割れ止工
	その他補修

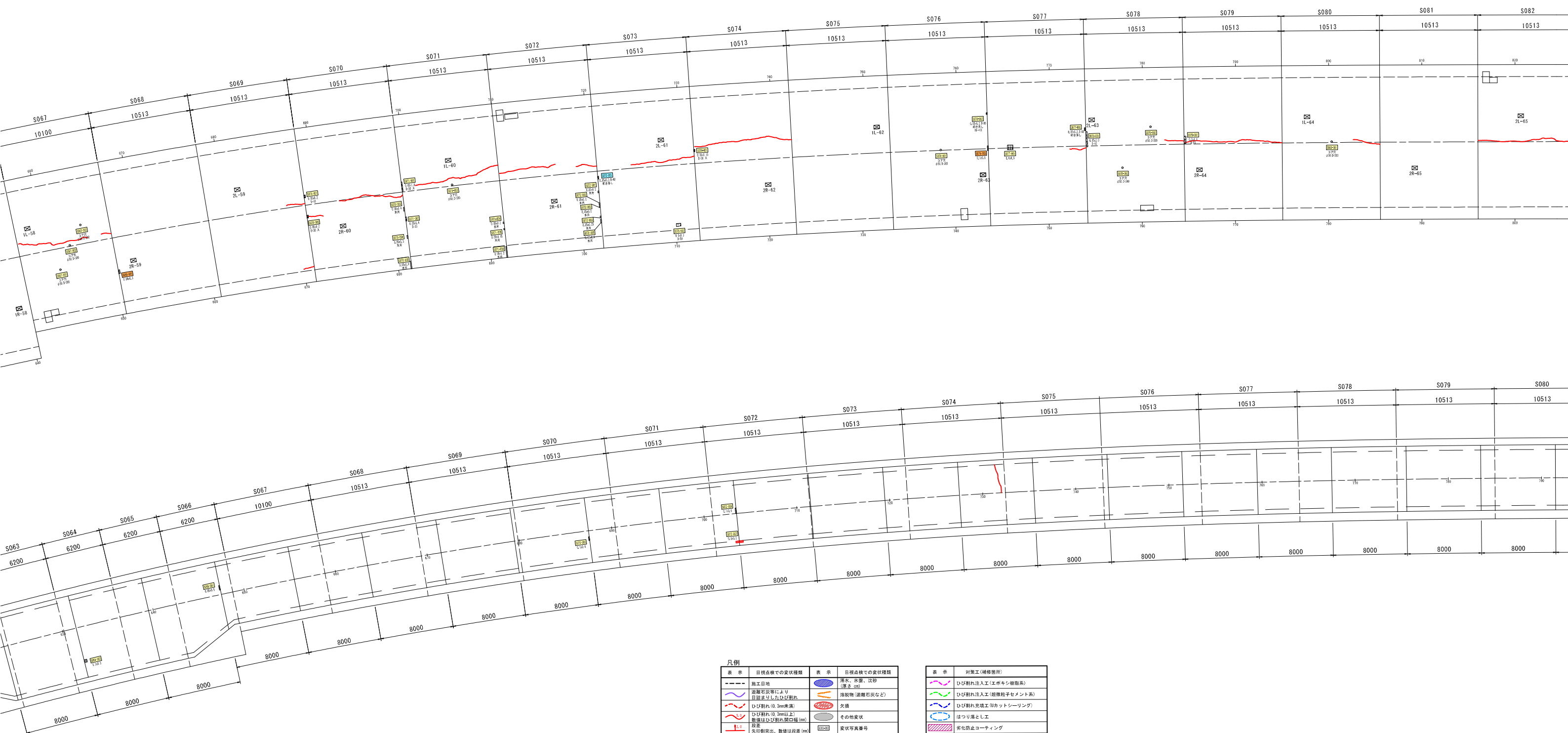
京上トンネル展開図 S=1:200



凡例			
表 示	目視点検での状況確認	表 示	目視点検での状況確認
---	施工目地	●	湧水、水漏れ、浸透
~~~~~	遊離石灰等によりひび割れ生じたひび割れ	○	湧出物(遊離石灰など)
~~~~~	ひび割れ(0.3mm未満)	○	欠損
~~~~~	ひび割れ(0.3mm以上)	○	その他変状
~~~~~	数値はひび割れ開口幅(mm)	○	変状写真番号
~~~~~	浸透	○	
~~~~~	欠損(剥離、数値は剥離(mm))	○	
~~~~~	コンクリートジョイント	○	
~~~~~	圧さ	○	
~~~~~	うき、はく離	○	
~~~~~	はく離(はく離)	○	
~~~~~	骨材の露出(豆板部)	○	
~~~~~	コンクリートの劣化	○	
~~~~~	鉄筋露出	○	
~~~~~	空洞	○	
~~~~~	漏水(漏水量、リットル/分)	○	
~~~~~	漏点(漏れている部分)	○	
対象	区分	状 態	
本 体	I	利用者に影響が及ぶ可能性がないため、措置を必要としない状態	
工 程	II	将来的に、利用者に影響が及ぶ可能性があるため、監視、又は予防保全の観点から対策を必要とする状態	
	III	早期、利用者に影響が及ぶ可能性が高いため、早期に対策を講じる必要がある状態	
	IV	利用者に影響が及ぶ可能性が高いため、緊急に対策を講じる必要がある状態	
附 属 物	X	附属物の取付状態に異常がある場合。	
	○	附属物の取付状態に異常がないか、あっても軽微な場合。	

表 示	対策工(補修箇所)
~~~~~	ひび割れ注入工(エポキシ樹脂系)
~~~~~	ひび割れ注入工(遊離石灰セメント系)
~~~~~	ひび割れ充填工(ポリマーセメント)
~~~~~	はつり落とし工
~~~~~	劣化防止コーティング
~~~~~	断面修復工(ポリマーセメント)
~~~~~	当て板工(炭素繊維シート2方向1層)
~~~~~	ネット工(FRPメッシュ)
~~~~~	ネット工(ビニロンメッシュ)
~~~~~	表面含浸工(けい酸ナトリウム系)
~~~~~	補修水工(溝切り工)150型
~~~~~	補修水工(溝切り工)120型
~~~~~	内面補修工(炭素繊維シート2方向2層)
~~~~~	裏込め注入工(発泡ウレタン)
~~~~~	ひび割れ止工
~~~~~	その他補修工

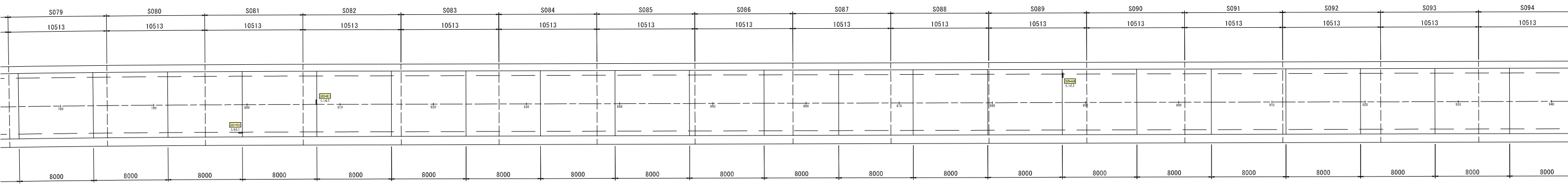
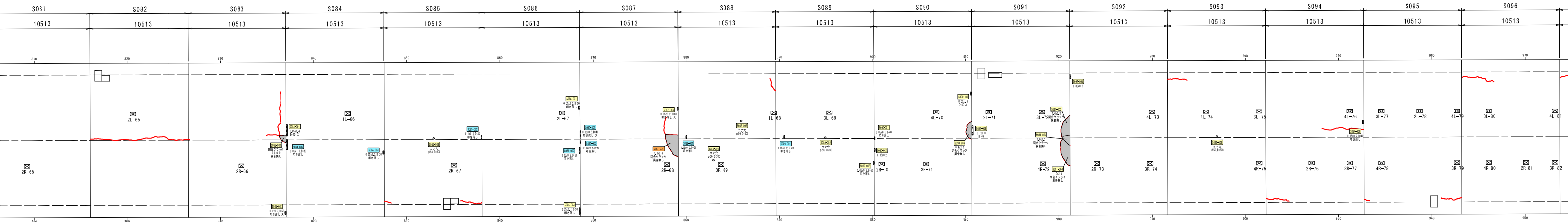
京上トンネル展開図 S=1:200



凡例	
表 示	目視点検での変状種類
	施工目地
	遊離石灰等により目詰まりしたひび割れ
	ひび割れ (0.3mm未満)
	ひび割れ (0.3mm以上)
	数値はひび割れ開口幅 (mm)
	段差
	矢印割突出、数値は段差 (mm)
	コールドジョイント
	圧さ
	うき、はく離 (ハンマー打診異常箇所)
	はく離 (はく落跡)
	骨材の露出 (豆板節)
	コンクリートの劣化
	鉄筋露出
	空洞
	湧水 (湧水量、リットル/分)
	漏水 (漏れている部分)
対象	区分
本 体 工	I 利用者に対して影響が及ぶ可能性がないため、措置を必要としない状態。
	II 将来的に、利用者に対して影響が及ぶ可能性があるため、監視、又は予防保全の観点から対策を必要とする状態。
	III 監視、利用者に対して影響が及ぶ可能性があるため、早期に対策を講じる必要がある状態。
	IV 利用者に対して影響が及ぶ可能性が高いため、緊急に対策を講じる必要がある状態。
附属物	X 附属物の取付状態に異常がある場合。
	O 附属物の取付状態に異常がないか、あっても軽微な場合。

表 示	対策工 (補修箇所)
	ひび割れ注入工 (エポキシ樹脂系)
	ひび割れ注入工 (繊維ポリエステル系)
	ひび割れ充填工 (Uカットシーリング)
	はつり落とし工
	劣化防止コーティング
	断面修復工 (ポリマーセメント)
	当て板工 (炭素繊維シート2方向1層)
	ネット工 (FRPメッシュ)
	ネット工 (ゴロンメッシュ)
	表面含浸工 (けい酸ナトリウム系)
	補修水工 (溝切り工) 150型
	補修水工 (溝切り工) 120型
	内面補修工 (炭素繊維シート1方向2層)
	裏込め注入工 (熱泡ウレタン)
	ひび割れ止水工
	その他補修

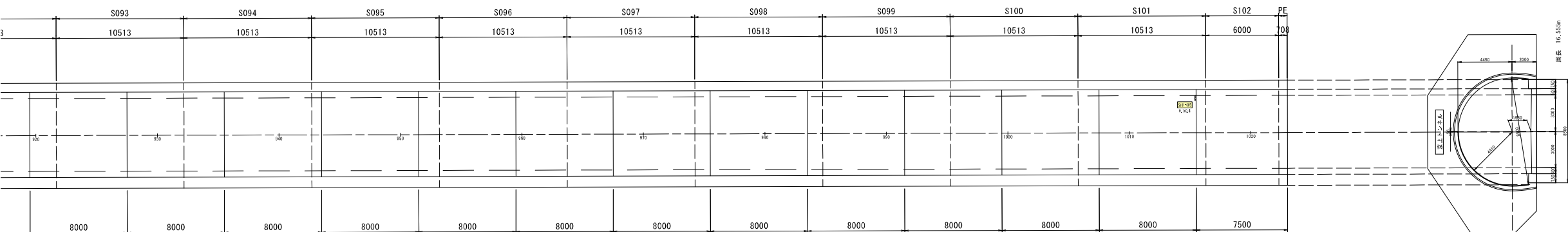
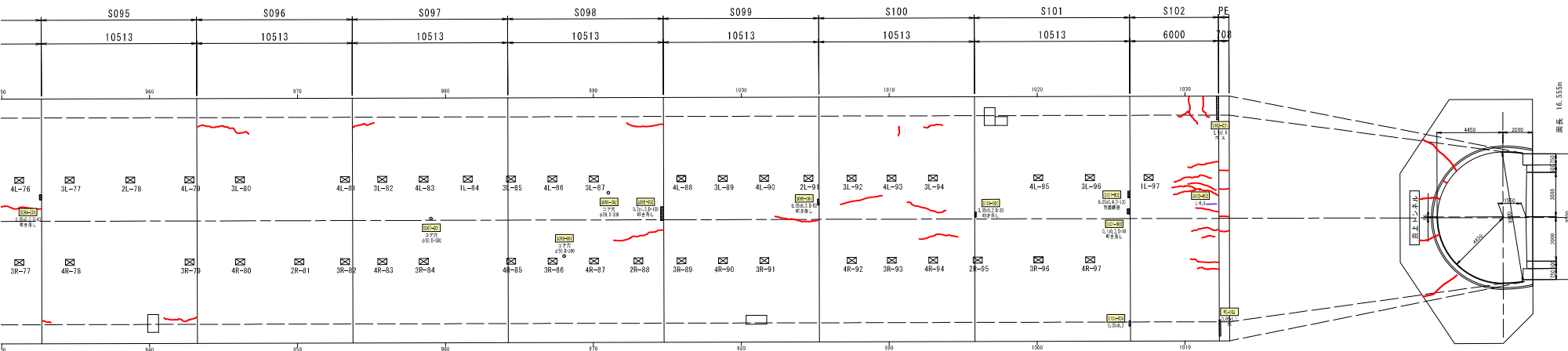
京上トンネル展開図 S=1:200



凡例			
表 示	目視点検での変状種類	表 示	目視点検での変状種類
	施工目地		湧水、浮砂、浮砂 (厚さ cm)
	遊離石灰等により目地劣化したひび割れ		剥落物 (遊離石灰など)
	ひび割れ (0.3mm未満)		欠損
	ひび割れ (0.3mm以上)		その他変状
	数値はひび割れ開口幅 (mm)		
	陥没		
	矢印は陥没、数値は陥没長さ (mm)		変状写真番号
	コールドジョイント		
	圧さ		
	うき、はく離 (ハンマー打撃異常箇所)		
	はく離 (はく剥離)		
	骨材の露出 (豆板部)		
	コンクリートの劣化		
	鉄筋露出		
	空洞		
	漏水 (漏水量、リットル/分)		
	漏水 (漏れている部分)		
対象	区分	状 態	
本 工 体	I	利用者に対して影響が及ぶ可能性がないため、措置を必要としない状態。	
	II	将来的に、利用者に対して影響が及ぶ可能性があるため、監視、又は予防保全の観点から対策を必要とする状態。	
	III	現時、利用者に対して影響が及ぶ可能性が高いため、早期に対策を講じる必要がある状態。	
	IV	利用者に対して影響が及ぶ可能性が高いため、緊急に対策を講じる必要がある状態。	
附 属 物	X	附属物の取付状態に異常がある場合。	
	O	附属物の取付状態に異常がないか、あっても軽微な場合。	

表 示	対策工 (補修箇所)
	ひび割れ注入工 (エポキシ樹脂系)
	ひび割れ注入工 (超微粒子セメント系)
	ひび割れ充填工 (ウレタンシーリング)
	はつり落とし工
	劣化防止コーティング
	断面修復工 (ポリマーセメント)
	当て板工 (炭素繊維シート2方向1層)
	ネット工 (FRPメッシュ)
	ネット工 (ビニロンメッシュ)
	表面含浸工 (けい酸ナトリウム系)
	線導水工 (溝切り工) 150型
	線導水工 (溝切り工) 120型
	内面補修工 (炭素繊維シート1方向2層)
	返込め注入工 (発泡ウレタン)
	ひび割れ止水工
	その他補修跡

京上トンネル展開図 S=1:200

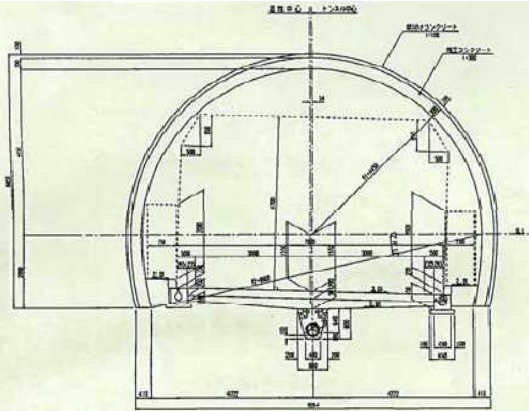
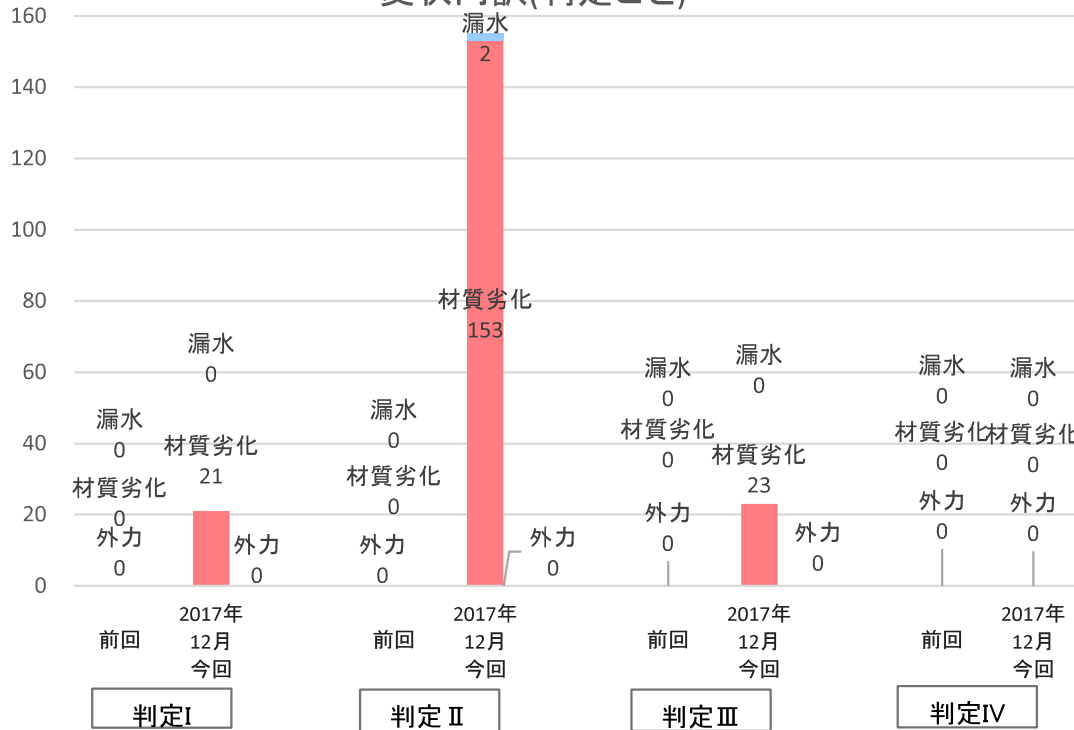
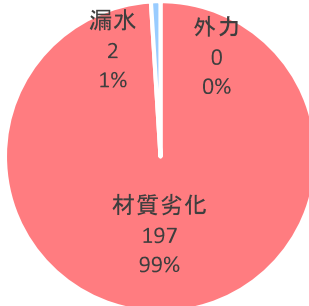


凡例		目視点検での状況確認	目視点検での状況確認
表	示	施工地目	溝欠、矢張、正砂 (厚さ 20)
—	—	道路を石等により 目詰りをしたひび割れ	汚物類 (道端石など)
~~~~~	~~~~~	ひび割れ (0.3mm 未満)	欠損
~~~~~	~~~~~	ひび割れ (0.3mm 以上)	その他状況
~~~~~	~~~~~	陥没は (矢張) 距離 (mm)	
~~~~~	~~~~~	陥没	
~~~~~	~~~~~	矢印印入数、数値は (陥没)	状況写真番号
~~~~~	~~~~~	コールドジョイント	
~~~~~	~~~~~	ぼさ	
~~~~~	~~~~~	うき、はく露 (ハンマー打音異常箇所)	(溝定まるひび割れの方向)
~~~~~	~~~~~	はく露 (はく露跡)	
~~~~~	~~~~~	資材の露出 (豆腐露)	
~~~~~	~~~~~	コンクリートの劣化	
~~~~~	~~~~~	鉄筋露出	
~~~~~	~~~~~	空洞	
~~~~~	~~~~~	漏水 (黒黒水、リットル/分)	
~~~~~	~~~~~	漏水 (漏れては影響が)	
対象	区分	状	態
本	I	利用者に對して影響が及ぶ可能性が低い、措置を必要としない状態	
体	II	利用者に對して影響が及ぶ可能性があるため、監視、又は 一時的な保全の観点から対策を必要とする状態。	
III	III	監視、利用者に對して影響が及ぶ可能性が高いため、早期に対策を 講じる必要がある状態。	
IV	IV	利用者に對して影響が及ぶ可能性が高いため、緊急に対策を講じる 必要がある状態。	
附	X	附属物の取付状態に異常がある場合。	
属	○	附属物の取付状態に異常がないが、あても不確かな場合。	

表 示	対策工(補修箇所)
	ひび割れ注入工(エポキシ樹脂系)
	ひび割れ注入工(超導ペースメント系)
	ひび割れ充填工(山カッターシーリング)
	ひびり落とし工
	劣化防止コーティング
	断面修復工(ポリマーセメント)
	当て板工(炭素繊維シート方向1層)
	ネット工(FRPメッシュ)
	ネット工(ビニロメッシュ)
	断面空注工(けい酸ポリウラム系)
	緑導水工(溝切り工)150型
	緑導水工(溝切り工)120型
	内面緑導工(炭素繊維シート方向2層)
	浸透の注入工(免洗ウレタン)
	ひび割れ止水工
	その他補修録



■トンネルの点検結果と変状の特徴

トンネル諸元				起点側		終点側		位置図		標準断面図										
トンネル名		京上トンネル																		
路線名		一般国道439号																		
完成年度		2001年																		
経過年数		16年																		
工法		NATM工法																		
トンネル延長		1023m																		
竣工巻圧	アーチ	30cm																		
	側壁	30cm																		
	インバート	45cm																		
点検結果				「道路トンネル定期点検要領（平成26年6月）」適用																
健全性の診断		I	II	III	IV	附属物×判定	総変状箇所数（附属物を除く）													
	前回	0箇所 (0スパン)	0箇所 (0スパン)	0箇所 (0スパン)	0箇所 (0スパン)	0箇所	0箇所													
	今回	21箇所 (14スパン)	155箇所 (52スパン)	23箇所 (13スパン)	0箇所 (0スパン)	0箇所	199箇所													
変状内訳(判定ごと)      前回変状内容(全体)  <table><tr><td>外力</td><td>材質劣化</td><td>漏水</td></tr><tr><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>0%</td><td>0%</td><td>0%</td></tr></table>    今回変状内容(全体)  												外力	材質劣化	漏水	0	0	0	0%	0%	0%
外力	材質劣化	漏水																		
0	0	0																		
0%	0%	0%																		
点検結果概要							トンネルの健全度													
・利用者に対して影響が及ぶ可能性が高く、緊急に措置を講じる必要がある判定Ⅳは、0箇所であった。 ・利用者に対して影響が及ぶ可能性が高い判定Ⅲは、23箇所であった。 ・利用者に対して影響が及ぶ可能性がある判定Ⅱは、136箇所であった。 ・「材質劣化」の変状が多く見られた。うきが、全部で120箇所あり、中でも目地沿いのうきが多数確認された。 うきの内53箇所は、はつり落としの措置を実施した。 目地では木片などの埋没も確認されており、典型的な半月状、舌状のブロック化も確認され、覆工施工時の型枠設置等施工方法に起因する変状と推定される。 ・附属物の異常は、0箇所であった。							Ⅲ													
今後の方針							対策優先順位													
・健全性がⅢであり、早期に措置を実施する必要がある。 ・補修対象と考えられる変状159箇所に対し、補修設計が必要となる。 うきは0.5m2以下の規模であるため、はつり落とし+劣化防止が有効と考えられる。 覆工コア抜き跡は、局所的な覆工巻厚不足であるため、断面補修工+当て板工が有効と考えられる。 また漏水2箇所に対しては、ひび割れ沿いの限定的な範囲であるため、止水注工による対応が有効と考えられる。																				
前回点検結果							変状種類													
外力		材質劣化		漏水			材質劣化		判定		Ⅱ									
Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	措置（方針）											
0	0	0	0	0	0	0	0	0	剥落防止対策（はつり落とし工）											
合計0箇所							剥落防止対策(断面修復工) はつり済み													
新規変状箇所（2017）							剥落防止対策(断面修復工)													
外力		材質劣化		漏水			材質劣化		判定		Ⅱ									
Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	措置（方針）											
0	0	0	153	23	0	2	0	0	剥落防止対策(断面補修工) はつり済み											
合計178箇所							剥落防止対策(金網・ネット工)													
今回点検結果（2017）																				
外力		材質劣化		漏水			材質劣化		判定		Ⅱ									
Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	措置（方針）											
0	0	0	153	23	0	2	0	0	剥落防止対策(金網・ネット工)											
合計178箇所																				

京上トンネル 判定結果総括

■トンネル概要

・トンネル諸元

路線名	一般国道439号
トンネル名称	京上トンネル
トンネル延長	1023.0m
道路幅員	8.5m
完成年	平成13年3月
工法	NATM工法

・スパン割

PS	S01	S02	S03	S04	S05	S06	S07	S08	S09	S10	S11	S12	S13	S14	S15	S16	S17	S18	S19	S20	S21	S22	S23	S24	S25	S26
0.7m	10.5m	10.5m	10.5m	10.5m	10.5m	10.5m	10.5m	10.5m	10.5m	10.5m	10.5m	10.5m	10.5m	10.5m	10.5m	10.5m	10.5m	10.5m	10.5m	10.5m	10.5m	10.5m	10.5m	10.5m	10.5m	10.5m
S27	S28	S29	S30	S31	S32	S33	S34	S35	S36	S37	S38	S39	S40	S41	S42	S43	S44	S45	S46	S47	S48	S49	S50	S51	S52	S53
10.5m	10.5m	10.5m	10.5m	10.5m	10.5m	10.5m	10.5m	10.5m	10.5m	10.5m	10.5m	10.5m	6.2m	6.2m	6.2m	6.2m	6.2m	10.5m	10.5m	10.5m	10.5m	10.5m	10.5m	10.5m	10.4m	10.4m
S54	S55	S56	S57	S58	S59	S60	S61	S62	S63	S64	S65	S66	S67	S68	S69	S70	S71	S72	S73	S74	S75	S76	S77	S78	S79	S80
10.4m	10.4m	10.4m	10.4m	10.4m	10.4m	10.4m	10.4m	6.2m	6.2m	6.2m	6.2m	6.2m	10.1m	10.5m	10.5m	10.5m	10.5m	10.5m	10.5m	10.5m	10.5m	10.5m	10.5m	10.5m	10.5m	10.5m
S81	S82	S83	S84	S85	S86	S87	S88	S89	S90	S91	S92	S93	S94	S95	S96	S97	S98	S99	S100	S101	S102	PE				
10.5m	10.5m	10.5m	10.5m	10.5m	10.5m	10.5m	10.5m	10.5m	10.5m	10.5m	10.5m	10.5m	10.5m	10.5m	10.5m	10.5m	10.5m	10.5m	10.5m	10.5m	10.5m	6.0m	0.7m			

■健全性の診断結果のまとめ

・健全度判定区分

区分		状態
I	健全	道路トンネルの機能に支障が生じていない状態
II	予防保全段階	道路トンネルの機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態
III	早期措置段階	道路トンネルの機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態
IV	緊急措置段階	道路トンネルの機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態

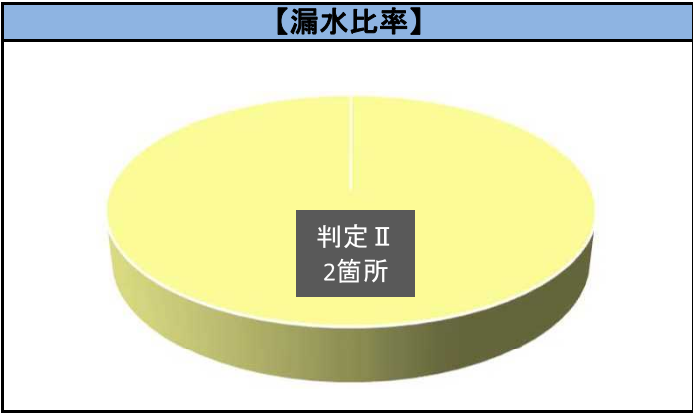
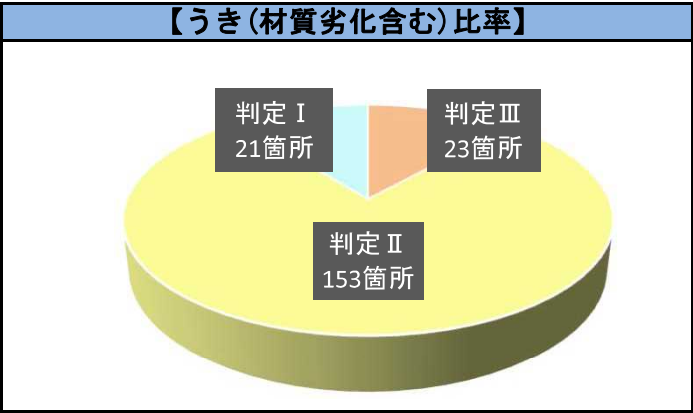
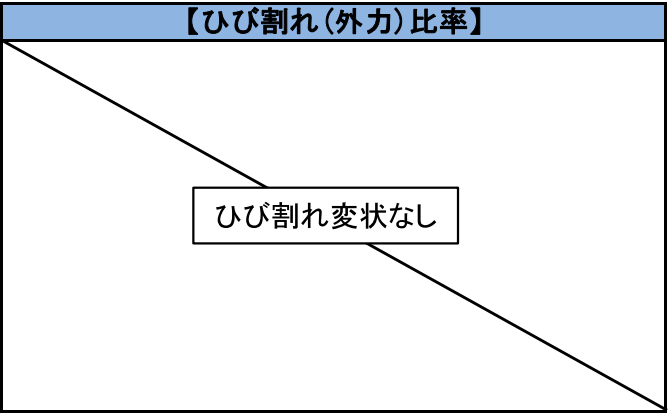
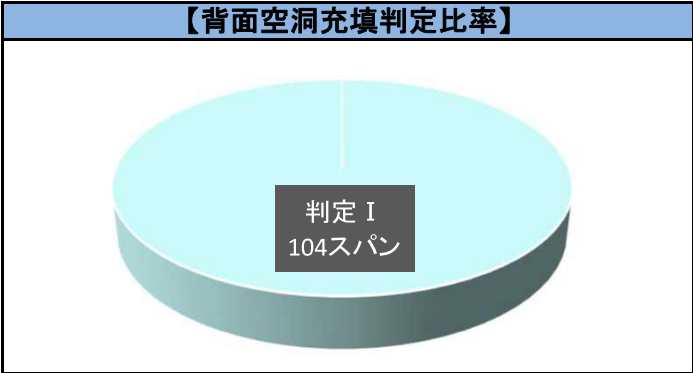
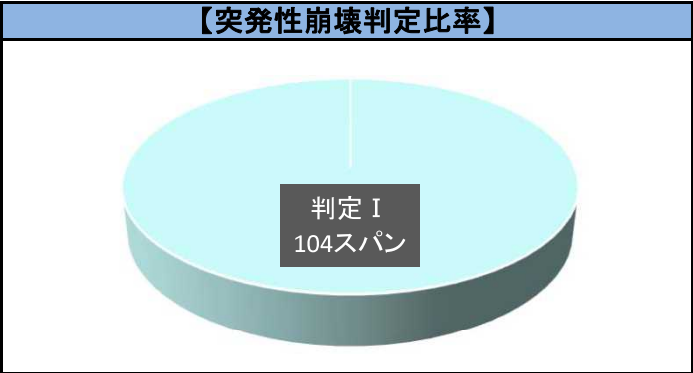
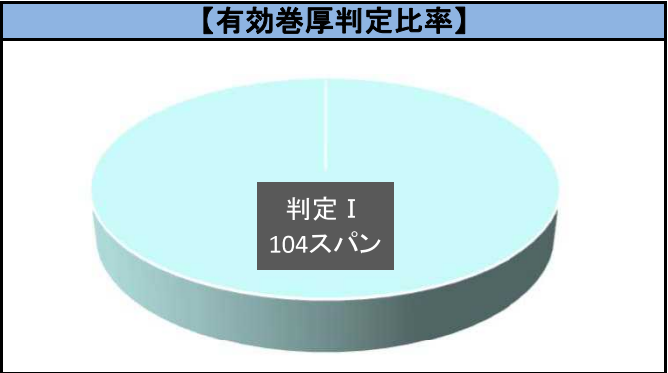
判定区分Ⅱ以上は措置（対策）が必要

【道路トンネル定期点検要領 平成31年2月：国土交通省道路局（自治体用）】P4

・健全度判定結果

変状等区分		変状等の概要	調査による健全性	トンネル毎の健全性
外力	ひび割れ	・点検業務	I	Ⅲ
	うき、はく離	・点検業務	Ⅲ	
材質劣化	有効巻厚	・全てのスパンにおいて、巻厚の減少がほとんどなく『判定Ⅰ』となる	I	
	覆工強度	・コア試験(5箇所)結果、13.0～29.2(N/mm2)の範囲で圧縮強度を確認。	I	
漏水		・点検業務	II	
突発性崩壊		・全てのスパンにおいて、背面空洞は30cm未満であり、背面空洞及び覆工厚の関係より『判定Ⅰ』となる。	I	
背面空洞充填		・全てのスパンにおいて、背面空洞は30cm未満であり、『判定Ⅰ』となる。	I	
附属物		・点検業務	I	

【道路トンネル定期点検要領 平成31年2月：国土交通省道路局（自治体用）】P33～  
【トンネル補修工事に関する手引き(案) 平成19年3月 国土交通省 中国地方整備局】P24



■点検調査 点検結果総括表（トンネル本体工） 【様式C-1-1】

フリガナ		キョウジョウトンネル		路線名		一般国道 439号		点検業者・点検者名		西国建設コンサルタント(株)谷口 剛史		点検年月日		2017年11月23日～24日		作成日	2018/2/6 9:12:05 PM		
名 称		京上トンネル		管理者名		徳島県 西部総合県民局 三好庁舎		調査業者・調査技術者名		――		調査年月日		――		ページ数	8		
点 検 結 果	覆工 スパン 番号	変 状 番 号	距離 (m)	変状部位		変 状 の 内 容				前回点検時の状態		点 検 ・ 調 査 履 歴				措置履歴		対応方針	メモ
				対象箇所	部位区分	変状区分	変状種類	変状の発生 範囲の規模	前回点検時 との比較	状態	健全性	調査の要否	実施	対策区分 の判定	措置の要否	実施	健全性 (措置後)	特記事項	
	PS	001	0.7	覆 工	側壁右側	材質劣化	う き	A=0.2㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(はつり落とし工)	ひび割れ等の閉合のおそれがない
	PS	002	0	覆 工	アーチ左側	漏 水	漏 水	A=0.07㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	漏水対策(線状)	ひび割れ沿いの漏水
	S001	001	5.7	覆 工	アーチ左側	材質劣化	その他	A=0.002㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(断面修復工)	アーチ中央部付近のコア跡
	S002	001	18.2	覆 工	アーチ左側	材質劣化	その他	A=0.002㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(断面修復工)	アーチ左側のコア跡
	S002	002	15.2	覆 工	アーチ右側	材質劣化	その他	A=0.002㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(断面修復工)	アーチ右側のコア跡
	S002	003	21.7	覆 工	横断目地右側	材質劣化	剥 離	A=0.03㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅳ	要 ・ 非	済(2017.11.23)	Ⅱ	剥落防止対策(はつり落とし工)	叩き落とし D=70mm>50mm
	S002	004	21.7	覆 工	横断目地右側	材質劣化	剥 離	A=0.01㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅳ	要 ・ 非	済(2017.11.23)	Ⅰ	剥落防止対策(はつり落とし工)	叩き落とし D=30mm<50mm
	S003	001	21.7	覆 工	横断目地右側	材質劣化	う き	A=0.01㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅲ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(はつり落とし工)	ひび割れの進行により閉合が懸念される(打音異音あり)
	S004	001	39.0	路 面	車道右側	材質劣化	う き	A=0.02㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	舗装工	路面目地部のうき
	S005	001	53.2	覆 工	横断目地右側	材質劣化	う き	A=0.015㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅲ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(はつり落とし工)	ひび割れの進行により閉合が懸念される(打音異常あり)
	S005	002	53.2	覆 工	横断目地右側	材質劣化	剥 離	A=0.01㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅳ	要 ・ 非	済(2017.11.24)	Ⅱ	剥落防止対策(はつり落とし工)	叩き落とし D=60mm>50mm
	S006	001	58.4	覆 工	アーチ左側	材質劣化	その他	A=0.002㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(断面修復工)	アーチ中央部付近のコア跡
	S006	002	63.7	覆 工	横断目地左側	材質劣化	剥 離	A=0.035㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅳ	要 ・ 非	済(2017.11.23)	Ⅰ	剥落防止対策(はつり落とし工)	叩き落とし D=30mm<50mm
	S006	003	63.7	覆 工	横断目地右側	材質劣化	剥 離	A=0.01㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅳ	要 ・ 非	済(2017.11.23)	Ⅱ	剥落防止対策(はつり落とし工)	叩き落とし D=60mm>50mm
	S006	004	63.7	覆 工	横断目地右側	材質劣化	剥 離	A=0.01㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅳ	要 ・ 非	2017.11.23	Ⅱ	剥落防止対策(はつり落とし工)	叩き落とし D=50mm
	S006	005	39.5	路 面	車道左側	材質劣化	う き	A=0.02㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	舗装工	路面目地部のうき
	S007	001	74.2	覆 工	横断目地左側	材質劣化	う き	A=0.01㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅳ	要 ・ 非	済(2017.11.23)	Ⅱ	剥落防止対策(はつり落とし工)	叩き落とし D=100mm>50mm
	S008	001	84.7	覆 工	横断目地左側	材質劣化	剥 離	A=0.003㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅳ	要 ・ 非	2017.11.23	Ⅱ	剥落防止対策(はつり落とし工)	叩き落とし D=50mm
	S008	002	79.5	路 面	車道左側	材質劣化	う き	A=0.015㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	舗装工	路面目地部のうき
	S009	001	90.0	覆 工	アーチ左側	材質劣化	その他	A=0.002㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(断面修復工)	アーチ中央部付近のコア跡
	S009	002	95.2	覆 工	横断目地左側	材質劣化	剥 離	A=0.005㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅳ	要 ・ 非	2017.11.23	Ⅱ	剥落防止対策(はつり落とし工)	叩き落とし D=50mm
	S009	003	95.2	覆 工	横断目地左側	材質劣化	剥 離	A=0.003㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅳ	要 ・ 非	済(2017.11.23)	Ⅰ	剥落防止対策(はつり落とし工)	叩き落とし D=30mm<50mm
	S009	004	95.2	覆 工	横断目地左側	材質劣化	う き	A=0.05㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅳ	要 ・ 非	2017.11.23	Ⅱ	剥落防止対策(はつり落とし工)	叩き落とし D=120mm>50mm
	S009	005	95.2	覆 工	アーチ右側	材質劣化	剥 離	A=0.01㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅳ	要 ・ 非	済(2017.11.23)	Ⅰ	剥落防止対策(はつり落とし工)	叩き落とし D=40mm<50mm
	S010	001	101.7	覆 工	側壁右側	材質劣化	う き	A=0.045㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(はつり落とし工)	ひび割れ等の閉合のおそれがない

※ 変状の除去が不完全で、緊急対応が必要な場合は対応方針欄に記入すること。  
 ※ 1区間の覆工に複数の変状がある場合は、変状箇所毎に記入すること。



■点検調査 点検結果総括表（トンネル本体工） 【様式C-1-1】

フリガナ		キョウジョウトンネル		路線名		一般国道 439号		点検業者・点検者名		西国建設コンサルタント(株)谷口 剛史		点検年月日		2017年11月23日～24日		作成日		2018/2/6 9:12:05 PM		
名 称		京上トンネル		管理者名		徳島県 西部総合県民局 三好庁舎		調査業者・調査技術者名		――		調査年月日		――		ページ数		8		
点 検 結 果	覆工 スパン 番号	変 状 番 号	距離 (m)	変状部位		変 状 の 内 容				前回点検時の状態		点検・調査履歴				措置履歴		対応方針 ・ 特記事項		メモ
				対象箇所	部位区分	変状区分	変状種類	変状の発生 範囲の規模	前回点検時 との比較	状態	健全性	調査の要否	実施	対策区分 の判定	措置の要否	実施	健全性 (措置後)			
	S011	001	109.7	覆 工	アーチ右側	材質劣化	その他	A=0.002㎡	――	――	――	要・ <input checked="" type="radio"/> 非	――	Ⅱ	<input checked="" type="radio"/> 要・非	未	――	剥落防止対策(断面修復工)	アーチ右側のコア跡	
	S011	002	112.5	覆 工	アーチ左側	材質劣化	その他	A=0.002㎡	――	――	――	要・ <input checked="" type="radio"/> 非	――	Ⅱ	<input checked="" type="radio"/> 要・非	未	――	剥落防止対策(断面修復工)	アーチ左側のコア跡	
	S011	003	116.2	覆 工	横断目地左側	材質劣化	剥 離	A=0.01㎡	――	――	――	要・ <input checked="" type="radio"/> 非	――	Ⅳ	<input checked="" type="radio"/> 要・非	2017.11.23	Ⅱ	剥落防止対策(はつり落とし工)	叩き落とし D=80mm>50mm	
	S011	004	116.2	覆 工	横断目地右側	材質劣化	剥 離	A=0.08㎡	――	――	――	要・ <input checked="" type="radio"/> 非	――	Ⅳ	<input checked="" type="radio"/> 要・非	2017.11.23	Ⅱ	剥落防止対策(はつり落とし工)	叩き落とし D=50mm	
	S011	005	116.2	覆 工	横断目地右側	材質劣化	う き	A=0.035㎡	――	――	――	要・ <input checked="" type="radio"/> 非	――	Ⅳ	<input checked="" type="radio"/> 要・非	2017.11.23	Ⅱ	剥落防止対策(はつり落とし工)	叩き落とし D=100mm>50mm	
	S011	006	116.2	覆 工	横断目地右側	材質劣化	う き	A=0.01㎡	――	――	――	要・ <input checked="" type="radio"/> 非	――	Ⅱ	<input checked="" type="radio"/> 要・非	未	――	剥落防止対策(はつり落とし工)	ひび割れ等の閉合のおそれがない	
	S011	007	116.2	覆 工	横断目地右側	材質劣化	う き	A=0.065㎡	――	――	――	要・ <input checked="" type="radio"/> 非	――	Ⅱ	<input checked="" type="radio"/> 要・非	未	――	剥落防止対策(はつり落とし工)	ひび割れ等の閉合のおそれがない	
	S012	001	126.7	覆 工	横断目地左側	材質劣化	剥 離	A=0.01㎡	――	――	――	要・ <input checked="" type="radio"/> 非	――	Ⅳ	<input checked="" type="radio"/> 要・非	2017.11.23	Ⅱ	剥落防止対策(はつり落とし工)	叩き落とし D=90mm>50mm	
	S012	002	126.7	覆 工	横断目地左側	材質劣化	剥 離	A=0.01㎡	――	――	――	要・ <input checked="" type="radio"/> 非	――	Ⅳ	<input checked="" type="radio"/> 要・非	2017.11.23	Ⅱ	剥落防止対策(はつり落とし工)	叩き落とし D=80mm>50mm	
	S012	003	126.7	覆 工	横断目地左側	材質劣化	剥 離	A=0.01㎡	――	――	――	要・ <input checked="" type="radio"/> 非	――	Ⅳ	<input checked="" type="radio"/> 要・非	2017.11.23	Ⅱ	剥落防止対策(はつり落とし工)	叩き落とし D=80mm>50mm	
	S012	004	117.5	覆 工	アーチ右側	材質劣化	その他	A=0.63㎡	――	――	――	要・ <input checked="" type="radio"/> 非	――	Ⅱ	<input checked="" type="radio"/> 要・非	未	――	剥落防止対策(金網・ネット工)	覆工コンクリートの劣化(打音異常なし)	
	S012	005	126.7	覆 工	横断目地左側	材質劣化	豆板	A=0.045㎡	――	――	――	要・ <input checked="" type="radio"/> 非	――	Ⅱ	<input checked="" type="radio"/> 要・非	未	――	剥落防止対策(金網・ネット工)	豆板	
	S012	006	126.7	覆 工	横断目地右側	材質劣化	う き	A=0.06㎡	――	――	――	要・ <input checked="" type="radio"/> 非	――	Ⅱ	<input checked="" type="radio"/> 要・非	未	――	剥落防止対策(はつり落とし工)	ひび割れ等の閉合のおそれがない	
	S012	007	126.7	覆 工	横断目地右側	材質劣化	剥 離	A=0.008㎡	――	――	――	要・ <input checked="" type="radio"/> 非	――	Ⅳ	<input checked="" type="radio"/> 要・非	2017.11.23	Ⅱ	剥落防止対策(はつり落とし工)	叩き落とし D=110mm>50mm	
	S013	001	132.0	覆 工	アーチ左側	材質劣化	その他	A=0.002㎡	――	――	――	要・ <input checked="" type="radio"/> 非	――	Ⅱ	<input checked="" type="radio"/> 要・非	未	――	剥落防止対策(断面修復工)	アーチ中央部付近のコア跡	
	S015	001	147.7	覆 工	横断目地左側	材質劣化	豆板	A=0.055㎡	――	――	――	要・ <input checked="" type="radio"/> 非	――	Ⅱ	<input checked="" type="radio"/> 要・非	未	――	剥落防止対策(金網・ネット工)	豆板	
	S015	002	149.7	覆 工	アーチ左側	材質劣化	剥 離	A=0.015㎡	――	――	――	要・ <input checked="" type="radio"/> 非	――	Ⅱ	<input checked="" type="radio"/> 要・非	未	――	剥落防止対策(金網・ネット工)	鉄筋露出	
	S015	003	158.2	覆 工	アーチ左側	材質劣化	う き	A=1.05㎡	――	――	――	要・ <input checked="" type="radio"/> 非	――	Ⅲ	<input checked="" type="radio"/> 要・非	未	――	剥落防止対策(金網・ネット工)	ひび割れ等が閉合しブロック化している(打音異常なし)	
S015	004	158.2	覆 工	アーチ右側	材質劣化	う き	A=1.82㎡	――	――	――	要・ <input checked="" type="radio"/> 非	――	Ⅲ	<input checked="" type="radio"/> 要・非	未	――	剥落防止対策(金網・ネット工)	ひび割れ等が閉合しブロック化している(打音異常なし)		
S016	001	168.7	覆 工	アーチ右側	材質劣化	う き	A=0.018㎡	――	――	――	要・ <input checked="" type="radio"/> 非	――	Ⅲ	<input checked="" type="radio"/> 要・非	未	――	剥落防止対策(はつり落とし工)	S16,S17目地部のうき ひび割れの進行により閉合が懸念される 打音異常あり		
S017	001	179.2	覆 工	横断目地左側	材質劣化	う き	A=0.006㎡	――	――	――	要・ <input checked="" type="radio"/> 非	――	Ⅳ	<input checked="" type="radio"/> 要・非	未	Ⅱ	剥落防止対策(断面修復工)	S17,S18目地部 はつり落とし D=70mm>50mm		
S019	001	195.2	覆 工	アーチ左側	材質劣化	その他	A=0.002㎡	――	――	――	要・ <input checked="" type="radio"/> 非	――	Ⅱ	<input checked="" type="radio"/> 要・非	未	――	剥落防止対策(断面修復工)	アーチ中央部付近のコア跡		
S019	002	200.2	覆 工	アーチ右側	材質劣化	う き	A=3.52㎡	――	――	――	要・ <input checked="" type="radio"/> 非	――	Ⅲ	<input checked="" type="radio"/> 要・非	未	――	剥落防止対策(金網・ネット工)	ひび割れが閉合しブロック化している(打音異常なし)		
S019	003	200.2	覆 工	アーチ右側	材質劣化	う き	A=3.84㎡	――	――	――	要・ <input checked="" type="radio"/> 非	――	Ⅱ	<input checked="" type="radio"/> 要・非	未	――	剥落防止対策(金網・ネット工)	ひび割れが閉合しブロック化している(打音異常なし)		
S020	001	204.2	覆 工	アーチ右側	材質劣化	その他	A=0.002㎡	――	――	――	要・ <input checked="" type="radio"/> 非	――	Ⅱ	<input checked="" type="radio"/> 要・非	未	――	剥落防止対策(断面修復工)	アーチ右側のコア跡		

※ 変状の除去が不完全で、緊急対応が必要な場合は対応方針欄に記入すること。  
※ 1区間の覆工に複数の変状がある場合は、変状箇所毎に記入すること。

■点検調査 点検結果総括表（トンネル本体工） 【様式C-1-1】

フリガナ		キョウジョウトンネル		路線名		一般国道 439号		点検業者・点検者名		西国建設コンサルタント(株)谷口 剛史		点検年月日		2017年11月23日～24日		作成日		2018/2/6 9:12:05 PM		
名 称		京上トンネル		管理者名		徳島県 西部総合県民局 三好庁舎		調査業者・調査技術者名		――		調査年月日		――		ページ数		8		
点 検 結 果	覆工 スパン 番号	変 状 番 号	距離 (m)	変状部位		変 状 の 内 容				前回点検時の状態		点 検 ・ 調 査 履 歴				措置履歴		対応方針		メモ
				対象箇所	部位区分	変状区分	変状種類	変状の発生 範囲の規模	前回点検時 との比較	状態	健全性	調査の要否	実施	対策区分 の判定	措置の要否	実施	健全性 (措置後)	特記事項		
	S022	001	228.3	覆 工	アーチ左側	材質劣化	その他	A=0.002㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(断面修復工)	アーチ左側のコア跡	
	S022	002	226.8	覆 工	アーチ左側	材質劣化	その他	A=0.002㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(断面修復工)	アーチ中央部付近のコア跡	
	S025	001	253.1	覆 工	横断目地右側	材質劣化	う き	A=0.015㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅲ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(はつり落とし工)	ひび割れの進行により閉合が懸念される(打音異常あり)	
	S025	002	258.6	覆 工	アーチ左側	材質劣化	その他	A=0.002㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(断面修復工)	アーチ中央部付近のコア跡	
	S025	003	263.7	覆 工	横断目地右側	材質劣化	剥 離	A=0.02㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅳ	要 ・ 非	2017.11.23	Ⅱ	剥落防止対策(はつり落とし工)	叩き落とし D=70mm>50mm	
	S026	001	274.4	覆 工	側壁左側	材質劣化	う き	A=0.025㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(はつり落とし工)	ひび割れ等の閉合のおそれがない	
	S027	001	274.4	覆 工	アーチ左側	材質劣化	剥 離	A=0.03㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅳ	要 ・ 非	2017.11.23	Ⅱ	剥落防止対策(はつり落とし工)	叩き落とし D=90mm>50mm	
	S027	002	285.0	覆 工	アーチ左側	材質劣化	う き	A=0.025㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(はつり落とし工)	ひび割れ等の閉合のおそれがない	
	S027	003	285.0	覆 工	アーチ左側	材質劣化	う き	A=5.76㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅲ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(金網・ネット工)	ひび割れ等が閉合しブロック化している(打音異常なし)	
	S027	004	285.0	覆 工	アーチ右側	材質劣化	う き	A=4.2㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅲ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(金網・ネット工)	ひび割れ等が閉合しブロック化している(打音異常なし)	
	S028	001	285.0	覆 工	アーチ左側	材質劣化	う き	A=0.023㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅲ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(はつり落とし工)	ひび割れの進行により閉合が懸念される(打音異常あり)	
	S028	002	285.0	覆 工	アーチ左側	材質劣化	豆板	A=0.09㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(金網・ネット工)	覆工コンクリートの劣化	
	S028	003	295.6	覆 工	アーチ右側	材質劣化	う き	A=0.01㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅲ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(はつり落とし工)	ひび割れの進行により閉合が懸念される(打音異常あり)	
	S029	001	296.0	覆 工	アーチ左側	材質劣化	う き	A=0.04㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅳ	要 ・ 非	済(2017.11.23)	Ⅰ	剥落防止対策(はつり落とし工)	叩き落とし D=20mm<50mm	
	S029	002	301.1	覆 工	アーチ左側	材質劣化	その他	A=0.002㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(断面修復工)	アーチ中央部付近のコア跡	
	S033	001	338.2	覆 工	アーチ左側	材質劣化	剥 離	A=0.02㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅳ	要 ・ 非	済(2017.11.23)	Ⅰ	剥落防止対策(はつり落とし工)	叩き落とし D=40mm<50mm	
	S033	002	342.2	覆 工	アーチ右側	材質劣化	その他	A=0.002㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(断面修復工)	アーチ右側のコア跡	
	S033	003	343.7	覆 工	アーチ左側	材質劣化	その他	A=0.002㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(断面修復工)	アーチ中央部付近のコア跡	
	S033	004	345.2	覆 工	アーチ左側	材質劣化	その他	A=0.002㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(断面修復工)	アーチ左側のコア跡	
	S037	001	380.8	覆 工	横断目地左側	材質劣化	豆板	A=0.03㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(金網・ネット工)	豆板 D=10mm<50mm	
	S037	002	380.8	覆 工	アーチ右側	材質劣化	剥 離	A=0.015㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(金網・ネット工)	目地部のはく落 D=30mm<50mm	
	S038	001	396.9	覆 工	アーチ左側	材質劣化	その他	A=0.002㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(断面修復工)	アーチ中央部付近のコア跡	
	S038	002	380.0	路 面	車道右側	材質劣化	う き	A=0.05㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	舗装工	路面目地部のうき	
	S038	003	380.0	路 面	車道右側	材質劣化	う き	A=0.03㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	舗装工	路面目地部のうき	
	S040	001	419.0	覆 工	アーチ右側	材質劣化	剥 離	A=0.025㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(断面修復工)	目地部のはく落 D=60mm>50mm	

※ 変状の除去が不完全で、緊急対応が必要な場合は対応方針欄に記入すること。  
※ 1区間の覆工に複数の変状がある場合は、変状箇所毎に記入すること。

■点検調査 点検結果総括表（トンネル本体工） 【様式C-1-1】

フリガナ		キョウジョウトンネル		路線名		一般国道 439号		点検業者・点検者名		西国建設コンサルタント(株)谷口 剛史		点検年月日		2017年11月23日～24日		作成日		2018/2/6 9:12:05 PM		
名 称		京上トンネル		管理者名		徳島県 西部総合県民局 三好庁舎		調査業者・調査技術者名		――		調査年月日		――		ページ数		8		
点 検 結 果	覆工 スパン 番号	変 状 番 号	距離 (m)	変状部位		変 状 の 内 容				前回点検時の状態		点 検 ・ 調 査 履 歴				措置履歴		対応方針		メモ
				対象箇所	部位区分	変状区分	変状種類	変状の発生 範囲の規模	前回点検時 との比較	状態	健全性	調査の要否	実 施	対策区分 の判定	措置の要否	実 施	健全性 (措置後)	特記事項		
	S041	001	419.0	覆 工	アーチ左側	材質劣化	豆板	A=0.1㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(金網・ネット工)	目地部のはく落 D=20mm<50mm	
	S041	002	419.0	路 面	車道右側	材質劣化	その他	A=0.023㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	舗装工	路面目地部付近の欠損 D=70mm	
	S042	001	425.4	覆 工	アーチ左側	材質劣化	豆板	A=0.235㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(金網・ネット工)	豆板 D=20mm<50mm	
	S042	002	431.7	覆 工	アーチ右側	材質劣化	剥 離	A=0.04㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(断面修復工)	目地部のはく落 D=60mm>50mm	
	S042	003	431.7	覆 工	アーチ右側	材質劣化	豆板	A=0.045㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(金網・ネット工)	豆板 D=20mm<50mm	
	S042	004	431.7	路 面	車道右側	材質劣化	う き	A=0.07㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	舗装工	路面目地部のうき	
	S044	001	438.0	覆 工	アーチ左側	材質劣化	豆板	A=0.025㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(金網・ネット工)	豆板 D=30mm<50mm	
	S047	001	475.9	覆 工	アーチ右側	材質劣化	剥 離	A=0.025㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(断面修復工)	目地部のはく落 D=130mm>50mm	
	S047	002	465.4	路 面	車道左側	材質劣化	う き	A=0.02㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	舗装工	路面目地部のうき	
	S048	001	475.9	覆 工	アーチ右側	材質劣化	う き	A=0.02㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅳ	要 ・ 非	2017.11.23	Ⅱ	剥落防止対策(はつり落とし工)	叩き落とし D=160mm>50mm	
	S048	002	481.0	覆 工	アーチ左側	材質劣化	その他	A=0.002㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(断面修復工)	アーチ中央部付近のコア跡	
	S049	001	490.4	覆 工	アーチ右側	材質劣化	その他	A=0.002㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(断面修復工)	アーチ右側のコア跡	
	S049	002	493.4	覆 工	アーチ左側	材質劣化	その他	A=0.002㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(断面修復工)	アーチ左側のコア跡	
	S050	001	507.4	覆 工	横断目地左側	材質劣化	う き	A=0.01㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(はつり落とし工)	ひび割れ等の閉合のおそれがない	
	S051	001	517.9	覆 工	アーチ左側	材質劣化	う き	A=1.10㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅲ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(金網・ネット工)	ひび割れ等が閉合しブロック化している(打音異常なし)	
	S051	002	517.9	覆 工	アーチ右側	材質劣化	う き	A=3.00㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅲ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(金網・ネット工)	ひび割れ等が閉合しブロック化している(打音異常なし)	
	S053	001	528.3	覆 工	アーチ左側	材質劣化	豆板	A=0.075㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(金網・ネット工)	豆板 D=10mm<50mm	
	S053	002	528.3	覆 工	アーチ右側	材質劣化	う き	A=0.51㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(金網・ネット工)	ひび割れ等が閉合しブロック化している(打音異常なし)	
S054	001	533.5	覆 工	アーチ左側	材質劣化	その他	A=0.002㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(断面修復工)	アーチ中央部付近のコア跡		
S054	002	540.0	路 面	車道左側	材質劣化	う き	A=0.04㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	舗装工	路面目地部のうき		
S054	003	535.7	路 面	車道左側	材質劣化	う き	A=0.08㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	舗装工	路面目地部のうき		
S055	001	549.1	覆 工	アーチ右側	材質劣化	剥 離	A=0.02㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅳ	要 ・ 非	2017.11.24	Ⅱ	剥落防止対策(はつり落とし工)	叩き落とし D=80mm>50mm		
S057	001	569.5	路 面	車道左側	材質劣化	う き	A=0.04㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	舗装工	路面目地部のうき		
S058	001	573.4	覆 工	アーチ右側	材質劣化	その他	A=0.002㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(断面修復工)	アーチ右側のコア跡		
S058	002	575.1	覆 工	アーチ左側	材質劣化	その他	A=0.002㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(断面修復工)	アーチ中央部付近のコア跡		

※ 変状の除去が不完全で、緊急対応が必要な場合は対応方針欄に記入すること。  
※ 1区間の覆工に複数の変状がある場合は、変状箇所毎に記入すること。

■点検調査 点検結果総括表（トンネル本体工） 【様式C－1－1】

フリガナ			キョウジョウトンネル		路線名		一般国道 439号		点検業者・点検者名		西国建設コンサルタント(株)谷口 剛史		点検年月日		2017年11月23日～24日		作成日	2018/2/6 9:12:05 PM	
名 称			京上トンネル		管理者名		徳島県 西部総合県民局 三好庁舎		調査業者・調査技術者名		――		調査年月日		――		ページ数	8	
点 検 結 果	覆工 スパン 番号	変 状 番 号	距離 (m)	変状部位		変 状 の 内 容				前回点検時の状態		点検・調査履歴				措置履歴		対応方針 ・ 特記事項	メモ
				対象箇所	部位区分	変状区分	変状種類	変状の発生 範囲の規模	前回点検時 との比較	状態	健全性	調査の要否	実施	対策区分 の判定	措置の要否	実施	健全性 (措置後)		
	S058	003	576.8	覆 工	アーチ左側	材質劣化	その他	A=0.002㎡	―	―	―	要・ <b>非</b>	―	Ⅱ	要・ <b>非</b>	未	―	剥落防止対策(断面修復工)	アーチ左側のコア跡
	S058	004	580.3	覆 工	横断目地左側	材質劣化	う き	A=0.025㎡	―	―	―	要・ <b>非</b>	―	Ⅳ	要・ <b>非</b>	済(2017.11.23)	Ⅱ	剥落防止対策(はつり落とし工)	叩き落とし D=80mm>50mm
	S059	001	580.3	覆 工	横断目地左側	材質劣化	剥 離	A=0.02㎡	―	―	―	要・ <b>非</b>	―	Ⅱ	要・ <b>非</b>	未	―	剥落防止対策(金網・ネット工)	目地部のはく落 D=40mm<50mm
	S059	002	590.7	覆 工	横断目地右側	材質劣化	その他	A=0.04㎡	―	―	―	要・ <b>非</b>	―	Ⅱ	要・ <b>非</b>	未	―	剥落防止対策(はつり落とし工)	木片
	S059	003	595.9	路 面	車道右側	材質劣化	う き	A=0.05㎡	―	―	―	要・ <b>非</b>	―	Ⅱ	要・ <b>非</b>	未	―	舗装工	路面目地部のうき
	S060	001	601.1	覆 工	横断目地左側	材質劣化	う き	A=0.01㎡	―	―	―	要・ <b>非</b>	―	Ⅳ	要・ <b>非</b>	済(2017.11.23)	Ⅰ	剥落防止対策(はつり落とし工)	叩き落とし D=30mm<50mm
	S060	002	601.1	覆 工	横断目地右側	材質劣化	その他	A=0.01㎡	―	―	―	要・ <b>非</b>	―	Ⅱ	要・ <b>非</b>	未	―	剥落防止対策(はつり落とし工)	木片
	S060	003	601.1	覆 工	横断目地右側	材質劣化	う き	A=0.18㎡	―	―	―	要・ <b>非</b>	―	Ⅱ	要・ <b>非</b>	未	―	剥落防止対策(はつり落とし工)	S60,S61目地部のうき 打音異常あり アーチ部よりも1ランク下げた
	S062	001	611.5	覆 工	横断目地左側	材質劣化	豆板	A=0.175㎡	―	―	―	要・ <b>非</b>	―	Ⅱ	要・ <b>非</b>	未	―	剥落防止対策(金網・ネット工)	豆板 D=10mm<50mm
	S062	002	617.7	覆 工	横断目地左側	材質劣化	う き	A=0.015㎡	―	―	―	要・ <b>非</b>	―	Ⅳ	要・ <b>非</b>	未	Ⅱ	剥落防止対策(断面修復工)	目地部のはく落 D=180mm>50mm
	S062	003	617.0	路 面	車道左側	材質劣化	う き	A=0.015㎡	―	―	―	要・ <b>非</b>	―	Ⅱ	要・ <b>非</b>	未	―	舗装工	路面目地部のうき
	S063	001	623.9	覆 工	横断目地右側	材質劣化	う き	A=0.042㎡	―	―	―	要・ <b>非</b>	―	Ⅲ	要・ <b>非</b>	未	―	剥落防止対策(金網・ネット工)	ひび割れの進行により閉合が懸念される(打音異常あり)
	S064	001	630.1	覆 工	横断目地左側	材質劣化	剥 離	A=0.005㎡	―	―	―	要・ <b>非</b>	―	Ⅳ	要・ <b>非</b>	2017.11.23	Ⅱ	剥落防止対策(断面修復工)	目地部のはく落 D=150mm>50mm
	S064	002	630.1	覆 工	横断目地右側	材質劣化	豆板	A=0.16㎡	―	―	―	要・ <b>非</b>	―	Ⅱ	要・ <b>非</b>	未	―	剥落防止対策(金網・ネット工)	豆板 D=10mm<50mm
	S064	003	625.4	路 面	車道右側	材質劣化	う き	A=0.09㎡	―	―	―	要・ <b>非</b>	―	Ⅱ	要・ <b>非</b>	未	―	舗装工	路面目地部のうき
	S066	001	641.0	路 面	車道左側	材質劣化	う き	A=0.025㎡	―	―	―	要・ <b>非</b>	―	Ⅱ	要・ <b>非</b>	未	―	舗装工	路面目地部のうき
	S067	001	646.5	覆 工	アーチ右側	材質劣化	その他	A=0.002㎡	―	―	―	要・ <b>非</b>	―	Ⅱ	要・ <b>非</b>	未	―	剥落防止対策(断面修復工)	アーチ右側のコア跡
	S067	002	648.0	覆 工	アーチ左側	材質劣化	その他	A=0.002㎡	―	―	―	要・ <b>非</b>	―	Ⅱ	要・ <b>非</b>	未	―	剥落防止対策(断面修復工)	アーチ中央部付近のコア跡
	S067	003	651.0	覆 工	アーチ左側	材質劣化	その他	A=0.002㎡	―	―	―	要・ <b>非</b>	―	Ⅱ	要・ <b>非</b>	未	―	剥落防止対策(断面修復工)	アーチ左側のコア跡
	S068	001	652.6	覆 工	横断目地右側	材質劣化	う き	A=0.012㎡	―	―	―	要・ <b>非</b>	―	Ⅲ	要・ <b>非</b>	未	―	剥落防止対策(はつり落とし工)	ひび割れの進行により閉合が懸念される(打音異常あり)
	S070	001	673.6	覆 工	横断目地左側	材質劣化	豆板	A=0.01㎡	―	―	―	要・ <b>非</b>	―	Ⅱ	要・ <b>非</b>	未	―	剥落防止対策(金網・ネット工)	豆板 D=10mm<50mm
	S070	002	673.6	覆 工	横断目地右側	材質劣化	剥 離	A=0.01㎡	―	―	―	要・ <b>非</b>	―	Ⅱ	要・ <b>非</b>	未	―	剥落防止対策(金網・ネット工)	目地部のはく落 D=30mm<50mm
	S070	003	684.1	覆 工	横断目地右側	材質劣化	その他	A=0.02㎡	―	―	―	要・ <b>非</b>	―	Ⅱ	要・ <b>非</b>	未	―	剥落防止対策(はつり落とし工)	木片
	S070	004	684.1	覆 工	横断目地右側	材質劣化	その他	A=0.015㎡	―	―	―	要・ <b>非</b>	―	Ⅱ	要・ <b>非</b>	未	―	剥落防止対策(はつり落とし工)	木片
	S070	005	684.1	覆 工	横断目地右側	材質劣化	その他	A=0.04㎡	―	―	―	要・ <b>非</b>	―	Ⅱ	要・ <b>非</b>	未	―	剥落防止対策(はつり落とし工)	木片

※ 変状の除去が不完全で、緊急対応が必要な場合は対応方針欄に記入すること。  
 ※ 1区間の覆工に複数の変状がある場合は、変状箇所毎に記入すること。

■点検調査 点検結果総括表（トンネル本体工） 【様式C－1－1】

フリガナ		キョウジョウトンネル		路線名		一般国道 439号		点検業者・点検者名		西国建設コンサルタント(株)谷口 剛史		点検年月日		2017年11月23日～24日		作成日		2018/2/6 9:12:05 PM	
名 称		京上トンネル		管理者名		徳島県 西部総合県民局 三好庁舎		調査業者・調査技術者名		――		調査年月日		――		ページ数		8	
点 検 結 果	覆工 スパン 番号	変 状 番 号	距離 (m)	変状部位		変 状 の 内 容				前回点検時の状態		点 検 ・ 調 査 履 歴				措置履歴		対応方針	メモ
				対象箇所	部位区分	変状区分	変状種類	変状の発生 範囲の規模	前回点検時 との比較	状態	健全性	調査の要否	実 施	対策区分 の判定	措置の要否	実 施	健全性 (措置後)	特記事項	
	S070	006	687.5	路 面	車道右側	材質劣化	う き	A=0.04㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	舗装工	路面目地部のうき
	S071	001	684.1	覆 工	横断目地左側	材質劣化	豆板	A=0.05㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(金網・ネット工)	豆板 D=30mm<50mm
	S071	002	684.1	覆 工	横断目地右側	材質劣化	豆板	A=0.02㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(金網・ネット工)	豆板 D=30mm<50mm
	S071	003	689.4	覆 工	アーチ左側	材質劣化	その他	A=0.002㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(断面修復工)	アーチ中央部付近のコア跡
	S071	004	694.8	覆 工	横断目地右側	材質劣化	その他	A=0.01㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(断面修復工)	木片
	S071	005	694.8	覆 工	横断目地右側	材質劣化	その他	A=0.008㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(はつり落とし工)	木片
	S071	006	694.8	覆 工	横断目地右側	材質劣化	その他	A=0.06㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(はつり落とし工)	木片
	S072	001	705.4	覆 工	横断目地右側	材質劣化	その他	A=0.01㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(はつり落とし工)	木片
	S072	002	705.4	覆 工	横断目地右側	材質劣化	その他	A=0.01㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(はつり落とし工)	木片
	S072	003	705.4	覆 工	横断目地右側	材質劣化	その他	A=0.01㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(はつり落とし工)	木片
	S072	004	705.4	覆 工	横断目地右側	材質劣化	その他	A=0.013㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(はつり落とし工)	木片
	S072	005	705.4	覆 工	横断目地右側	材質劣化	その他	A=0.02㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(はつり落とし工)	木片
	S072	006	703.0	路 面	車道左側	材質劣化	う き	A=0.06㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	舗装工	路面目地部のうき
	S072	007	703.0	路 面	歩道右側	材質劣化	その他	A=0.16㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	舗装工	路面目地部周辺の破損
	S073	001	705.4	覆 工	横断目地右側	材質劣化	剥 離	A=0.015㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅳ	要 ・ 非	済(2017.11.23)	Ⅰ	剥落防止対策(はつり落とし工)	叩き落とし D=40mm<50mm
	S073	002	713.6	覆 工	アーチ右側	材質劣化	豆板	A=0.15㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(金網・ネット工)	豆板 D=5mm<50mm
	S074	001	716.1	覆 工	横断目地左側	材質劣化	剥 離	A=0.008㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(金網・ネット工)	目地部のはく落 D=30mm<50mm
	S076	001	742.5	覆 工	アーチ左側	材質劣化	その他	A=0.002㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(断面修復工)	アーチ中央部付近のコア跡
	S076	002	748.1	覆 工	横断目地左側	材質劣化	う き	A=0.01㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅳ	要 ・ 非	2017.11.23	Ⅱ	剥落防止対策(はつり落とし工)	叩き落とし D=80mm>50mm
	S076	003	748.1	覆 工	横断目地左側	材質劣化	う き	A=0.05㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅲ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(はつり落とし工)	ひび割れの進行により閉合が懸念される(打音異常あり)
	S077	001	750.1	覆 工	アーチ左側	材質劣化	その他	A=0.30㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(金網・ネット工)	アーチ中央部付近の劣化
	S077	002	758.8	覆 工	横断目地左側	材質劣化	剥 離	A=0.01㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅳ	要 ・ 非	2017.11.23	Ⅱ	剥落防止対策(はつり落とし工)	叩き落とし D=60mm>50mm
	S078	001	758.8	覆 工	横断目地左側	材質劣化	豆板	A=0.10㎡	新たに発生	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	――	――	剥落防止対策(金網・ネット工)	豆板 D=10mm<50mm
	S078	002	765.5	覆 工	アーチ左側	材質劣化	その他	A=0.002㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(断面修復工)	アーチ右側のコア跡
	S078	003	765.5	覆 工	アーチ左側	材質劣化	その他	A=0.002㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(断面修復工)	アーチ左側のコア跡

※ 変状の除去が不完全で、緊急対応が必要な場合は対応方針欄に記入すること。  
 ※ 1区間の覆工に複数の変状がある場合は、変状箇所毎に記入すること。



■点検調査 点検結果総括表（トンネル本体工） 【様式C－1－1】

フリガナ		キョウジョウトンネル		路線名		一般国道 439号		点検業者・点検者名		西国建設コンサルタント(株)谷口 剛史		点検年月日		2017年11月23日～24日			作成日		2018/2/6 9:12:05 PM	
名 称		京上トンネル		管理者名		徳島県 西部総合県民局 三好庁舎		調査業者・調査技術者名		――		調査年月日		――			ページ数		8	
点 検 結 果	覆工 スパン 番号	変 状 番 号	距離 (m)	変状部位		変 状 の 内 容				前回点検時の状態		点検・調査履歴				措置履歴		対応方針		メモ
				対象箇所	部位区分	変状区分	変状種類	変状の発生 範囲の規模	前回点検時 との比較	状態	健全性	調査の要否	実施	対策区分 の判定	措置の要否	実施	健全性 (措置後)	特記事項		
	S079	001	769.5	覆 工	横断目地左側	材質劣化	豆板	A=0.22㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(断面修復工)	豆板 D=50mm≧50mm	
	S080	001	785.4	覆 工	アーチ左側	材質劣化	その他	A=0.002㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(断面修復工)	アーチ中央部付近のコア跡	
	S081	001	799.0	路 面	車道右側	材質劣化	う き	A=0.04㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	舗装工	路面目地部周辺のうき	
	S082	001	807.0	路 面	車道左側	材質劣化	う き	A=0.05㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	舗装工	路面目地部のうき	
	S083	001	822.7	覆 工	アーチ左側	材質劣化	う き	A=0.80㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(金網・ネット工)	ひび割れ等が閉合しブロック化している(打音異常なし)	
	S083	002	822.7	覆 工	横断目地右側	材質劣化	う き	A=0.03㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅳ	要 ・ 非	凍(2017.11.24)	Ⅱ	剥落防止対策(はつり落とし工)	叩き落とし D=50mm≦50mm	
	S084	001	822.7	覆 工	横断目地左側	材質劣化	豆板	A=0.07㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(金網・ネット工)	豆板 D=20mm<50mm	
	S084	002	822.7	覆 工	横断目地右側	材質劣化	う き	A=0.055㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅳ	要 ・ 非	凍(2017.11.24)	Ⅰ	剥落防止対策(はつり落とし工)	叩き落とし D=30mm<50mm	
	S084	003	833.2	覆 工	横断目地右側	材質劣化	う き	A=0.015㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅳ	要 ・ 非	凍(2017.11.24)	Ⅰ	剥落防止対策(はつり落とし工)	叩き落とし D=30mm<50mm	
	S085	001	838.2	覆 工	アーチ左側	材質劣化	その他	A=0.002㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(断面修復工)	アーチ中央部付近のコア跡	
	S085	002	843.7	覆 工	横断目地左側	材質劣化	う き	A=0.04㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅳ	要 ・ 非	凍(2017.11.23)	Ⅰ	剥落防止対策(はつり落とし工)	叩き落とし D=30mm<50mm	
	S086	001	854.2	覆 工	横断目地左側	材質劣化	剥 離	A=0.01㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅳ	要 ・ 非	2017.11.23	Ⅱ	剥落防止対策(断面修復工)	叩き落とし D=50mm≧50mm	
	S086	002	854.2	覆 工	横断目地右側	材質劣化	剥 離	A=0.035㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅳ	要 ・ 非	凍(2017.11.24)	Ⅰ	剥落防止対策(はつり落とし工)	叩き落とし D=30mm<50mm	
	S086	003	854.2	覆 工	横断目地左側	材質劣化	剥 離	A=0.035㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅳ	要 ・ 非	2017.11.24	Ⅱ	剥落防止対策(断面修復工)	叩き落とし D=50mm≧50mm	
	S087	001	854.2	覆 工	横断目地左側	材質劣化	剥 離	A=0.04㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅳ	要 ・ 非	凍(2017.11.23)	Ⅰ	剥落防止対策(はつり落とし工)	叩き落とし D=40mm<50mm	
	S087	002	854.2	覆 工	横断目地右側	材質劣化	剥 離	A=0.02㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅳ	要 ・ 非	凍(2017.11.24)	Ⅰ	剥落防止対策(はつり落とし工)	叩き落とし D=40mm<50mm	
	S087	003	864.7	覆 工	横断目地左側	材質劣化	剥 離	A=0.01㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅳ	要 ・ 非	2017.11.23	Ⅱ	剥落防止対策(断面修復工)	叩き落とし D=60mm>50mm	
	S087	004	864.7	覆 工	アーチ右側	材質劣化	う き	A=3.12㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅲ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(金網・ネット工)	ひび割れ等が閉合しブロック化している(打音異常なし)	
	S088	001	865.4	覆 工	アーチ左側	材質劣化	剥 離	A=0.01㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅳ	要 ・ 非	凍(2017.11.23)	Ⅰ	剥落防止対策(はつり落とし工)	叩き落とし D=20mm<50mm	
	S088	002	868.7	覆 工	アーチ右側	材質劣化	その他	A=0.002㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(断面修復工)	アーチ右側のコア跡	
	S088	003	871.2	覆 工	アーチ左側	材質劣化	その他	A=0.002㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(断面修復工)	アーチ左側のコア跡	
	S089	001	875.9	覆 工	アーチ左側	材質劣化	剥 離	A=0.01㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅳ	要 ・ 非	凍(2017.11.23)	Ⅰ	剥落防止対策(はつり落とし工)	叩き落とし D=30mm<50mm	
	S089	002	880.4	覆 工	アーチ左側	材質劣化	その他	A=0.002㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(断面修復工)	アーチ中央部付近のコア跡	
	S089	003	885.7	覆 工	横断目地右側	材質劣化	剥 離	A=0.01㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅳ	要 ・ 非	2017.11.24	Ⅱ	剥落防止対策(はつり落とし工)	叩き落とし D=50mm≧50mm	
	S089	004	887.5	覆 工	車道左側	材質劣化	う き	A=0.05㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	舗装工	路面目地部のうき	

作成日	2018/2/6 9:12:05 PM
ページ数	8

※ 変状の除去が不完全で、緊急対応が必要な場合は対応方針欄に記入すること。  
 ※ 1区間の覆工に複数の変状がある場合は、変状箇所毎に記入すること。

■点検調査 点検結果総括表（トンネル本体工） 【様式C-1-1】

フリガナ		キョウジョウトンネル		路線名		一般国道 439号		点検業者・点検者名		西国建設コンサルタント(株)谷口 剛史		点検年月日		2017年11月23日～24日		作成日		2018/2/6 9:12:05 PM		
名 称		京上トンネル		管理者名		徳島県 西部総合県民局 三好庁舎		調査業者・調査技術者名		――		調査年月日		――		ページ数		8		
点 検 結 果	覆工 スパン 番号	変状 番号	距離 (m)	変状部位		変 状 の 内 容				前回点検時の状態		点検・調査履歴				措置履歴		対応方針 ・ 特記事項		メモ
				対象箇所	部位区分	変状区分	変状種類	変状の発生 範囲の規模	前回点検時 との比較	状態	健全性	調査の要否	実施	対策区分 の判定	措置の要否	実施	健全性 (措置後)			
	S090	001	885.7	覆 工	横断目地左側	材質劣化	剥 離	A=0.015㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅳ	要 ・ 非	済(2017.11.23)	Ⅰ	剥落防止対策(はつり落とし工)	叩き落とし D=40mm<50mm	
	S090	002	885.7	覆 工	横断目地右側	材質劣化	う き	A=0.01㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅲ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(はつり落とし工)	目地部のうき	
	S090	003	896.3	覆 工	横断目地左側	材質劣化	剥 離	A=0.015㎡	新たに発生	――	――	要 ・ 非	――	Ⅳ	要 ・ 非	済(2017.11.23)	Ⅰ	剥落防止対策(はつり落とし工)	叩き落とし D=40mm<50mm	
	S090	004	896.3	覆 工	アーチ左側	材質劣化	う き	A=2.00㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅲ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(金網・ネット工)	ひび割れ等が閉合しブロック化している(打音異常なし)	
	S091	001	896.3	覆 工	横断目地左側	材質劣化	豆板	A=0.10㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(金網・ネット工)	豆板 D=40mm<50mm	
	S091	002	906.8	覆 工	アーチ左側	材質劣化	う き	A=2.80㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅲ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(金網・ネット工)	ひび割れ等が閉合しブロック化している(打音異常なし)	
	S091	003	906.8	覆 工	アーチ右側	材質劣化	う き	A=1.20㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅲ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(金網・ネット工)	ひび割れ等が閉合しブロック化している(打音異常なし)	
	S091	004	906.8	覆 工	アーチ右側	材質劣化	う き	A=2.10㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅲ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(金網・ネット工)	ひび割れ等が閉合しブロック化している(打音異常なし)	
	S092	001	906.8	覆 工	側壁左側	材質劣化	う き	A=0.025㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(はつり落とし工)	S91.S92目地部のうき 打音異常あり アーチ部よりも1ランク下げた判定	
	S093	001	918.0	覆 工	アーチ左側	材質劣化	その他	A=0.002㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(断面修復工)	アーチ中央部付近のコア跡	
	S094	001	933.3	覆 工	横断目地左側	材質劣化	剥 離	A=0.01㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅳ	要 ・ 非	済(2017.11.23)	Ⅰ	剥落防止対策(はつり落とし工)	叩き落とし D=40mm<50mm	
	S097	001	958.5	覆 工	アーチ左側	材質劣化	その他	A=0.002㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(断面修復工)	アーチ中央部付近のコア跡	
	S098	001	973.8	覆 工	アーチ右側	材質劣化	その他	A=0.002㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(断面修復工)	アーチ右側のコア跡	
	S098	002	970.5	覆 工	アーチ左側	材質劣化	その他	A=0.002㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(断面修復工)	アーチ左側のコア跡	
	S098	003	974.5	覆 工	横断目地左側	材質劣化	剥 離	A=0.02㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅳ	要 ・ 非	2017.11.23	Ⅱ	剥落防止対策(はつり落とし工)	目地部のはく落 D=100mm>50mm	
	S099	001	985.5	覆 工	横断目地左側	材質劣化	剥 離	A=0.015㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅳ	要 ・ 非	2017.11.23	Ⅱ	剥落防止対策(はつり落とし工)	叩き落とし D=50mm≥50mm	
	S101	001	996.0	覆 工	横断目地左側	材質劣化	剥 離	A=0.01㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅳ	要 ・ 非	済(2017.11.23)	Ⅰ	剥落防止対策(はつり落とし工)	叩き落とし D=20mm<50mm	
	S101	002	1006.5	覆 工	横断目地左側	材質劣化	剥 離	A=0.02㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅲ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(断面修復工)	目地部のはく落 鉄筋露出 D=120mm>50mm	
	S101	003	1006.5	覆 工	横断目地左側	材質劣化	剥 離	A=0.02㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅳ	要 ・ 非	済(2017.11.23)	Ⅰ	剥落防止対策(はつり落とし工)	叩き落とし D=40mm<50mm	
	S101	004	1006.5	覆 工	横断目地右側	材質劣化	う き	A=0.015㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(はつり落とし工)	S101.S102目地部のうき 打音異常あり アーチ部よりも1ランク下げた判定	
	S101	005	1016.5	路 面	車道左側	材質劣化	う き	A=0.04㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	舗装工	路面目地部のうき	
	S102	001	1009.0	覆 工	横断目地左側	材質劣化	う き	A=0.16㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(はつり落とし工)	目地部補修跡のうき 打音異常あり アーチ部よりも1ランク下げた判定	
	S102	002	100.0	覆 工	アーチ左側	漏 水	漏 水	A=0.08㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	漏水対策(線状)	ひび割れ沿いの漏水	
	PE	001	1009.0	覆 工	横断目地右側	材質劣化	う き	A=0.055㎡	――	――	――	要 ・ 非	――	Ⅱ	要 ・ 非	未	――	剥落防止対策(はつり落とし工)	目地部補修跡のうき 打音異常あり アーチ部よりも1ランク下げた判定	
												要 ・ 非				要 ・ 非				

			措置後			コア跡		補修設計	補修設計
			判定Ⅰ	21箇所					
判定Ⅱ	123箇所		判定Ⅱ	32箇所		42箇所		155箇所	113箇所
判定Ⅲ	23箇所							23箇所	23箇所
判定Ⅳ	53箇所								
合計	199箇所							178箇所	136箇所

コア有り    コア無し

※ 変状の除去が不完全で、緊急対応が必要な場合は対応方針欄に記入すること。  
※ 1区間の覆工に複数の変状がある場合は、変状箇所毎に記入すること。